

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施概要	1
3 調査結果の読み方	2
4 参考データ	2
第 2 章 調査の結果	3
1 最初にあなたご自身のことについてお聴きします。	4
2 田村市の住み心地や定住意向についてお聴きします。	16
3 田村市の取り組みへの満足度、今後の重要度についてお聴きします。	28
4 田村市の将来像や今後の取り組みについてお聴きします。	44
5 市民ワークショップの参加意向	64

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第 2 次田村市総合計画」(計画期間：令和 4 年度～令和 13 年度)の策定にあたって、市民の皆さまから、まちづくり施策への評価や今後のまちづくりに向けた課題等を分析することを目的に実施しました。

2 調査の実施概要

項目	内容
調査対象	18 歳以上の市民（市内在住） 2,000 人 （性別・年齢・地区の人口割合を勘案した無作為抽出による層別抽出法）
調査方法	郵送調査（郵送による配付・回収）
調査時期	令和 2 年 10 月 23 日（金）～11 月 9 日（月）
回答数	790 票（回答率 39.5%）
調査地区	市内全地区
結果の見方と理論値	調査結果は、母集団（18 歳以上の市民 約 32,000 人）に対する統計上の一般的な要件（信頼度 95%等）を備える。理論上の最大誤差範囲は 3.4%（構成比率 50%の場合、母集団では 46.6%～53.4%の範囲と推定）。
主な調査項目	1 最初にあなたご自身のことについて 2 田村市の住み心地や定住意向について 3 田村市の取り組みへの満足度、今後の重要度について 4 田村市の将来像や今後の取り組みについて 5 市民ワークショップの参加意向

3 調査結果の読み方

- 図表は、当該設問の回答者における各選択肢の比率（百分率＝％）を示しています。
- 回答者は、構成比算出の母数（人数）を示しています。なお、回答者を限定する設問（前問に答えた人のみが回答する等）は限定後の母数が「回答者」となります。
- 集計結果（本文及び図表の数値）は小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位で示します。数値を四捨五入しているため、選択肢比率の合計が 100％にならない場合や複数回答の設問で選択肢比率の合計が 100％を超える場合があります。
- 集計結果の「0.0」は、四捨五入の結果または回答がないことを示しています。
- 回答者属性別集計では「無回答」等を非表示としています。そのため、回答者と属性区分の人数の合計が異なる場合や属性区分別の数値合計が 100％にならない場合があります。
- 回答者の少ないデータ（回答者属性別集計の結果等）は統計的誤差の大きい場合があるため、数値の取り扱いには注意する必要があります。
- 語句が長い選択肢等は本文及び図表に一部を省略して表示している場合があります。
- 回答者属性は区分の一部を省略して表示しています（下表）。

属性	省略した表示	内容
世帯	2 世代同居	2 世代が同居（親と自分、自分と子ども）
	3 世代同居	3 世代が同居（親・自分・子ども、自分・子ども・孫など）
職業	会社員等	会社員、団体職員、公務員
	契約・派遣等	契約・派遣社員、パート、アルバイトなど
	農林漁業	農林漁業（自営、家業従事）
	役員・自営等	会社役員、自営業（農林漁業を除く）・自由業
勤務・通学先	非就労・非通学	働いていない（通学していない）

4 参考データ

- 前回の計画策定時に実施した「平成 25 年調査」と本調査（令和 2 年）に共通する設問については、調査結果の比較を記載しています。

平成 25 年調査の実施概要	
調査対象	15 歳以上の市内在住者 2,000 人（性別・年齢・地区比率を考慮した上で無作為抽出）
調査期間	平成 25 年 10 月 30 日～11 月 13 日
調査方法	郵送調査（郵送による配付・回収）
回答数	691 票（回答率 34.6％）

第2章 調査の結果

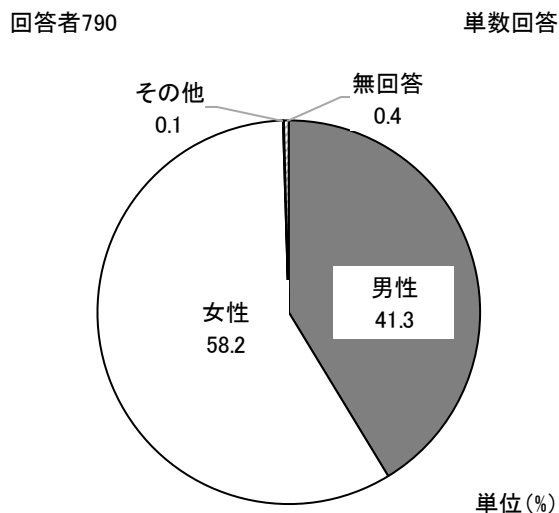
調査項目一覧

区分	調査項目
1 回答者の属性	問1 性別（自認する性別）
	問2 年齢
	問3 居住地区
	問4 家族構成（同居者）
	問5 主な職業
	問6 通勤・通学先
2 田村市の住み心地や定住意向	問7 田村市の住み心地
	問8 今後の市内居住意向
	付問1（今後も暮らしたい人への設問）住み続けたい理由
	付問2（暮らしたいと思わない人への設問）住み続けたくない理由
	問9 田村市へ愛着や誇りの自覚
	問10 現在の幸福度
3 田村市の取り組みの満足度、今後の重要度	問11 まちづくりの取り組みの満足度、今後の重要度（6分野32施策の評価）
	問12 地域活動やボランティアへの参加意向
	問13 これからのまちづくりの考え方
4 田村市の将来像や今後の取り組み	問14 SDGs（持続可能な開発目標）の認知度
	問15 SDGsの目標で特に大切なこと
	問16 Society5.0の認知度
	問17 田村市でSociety5.0が進むことを期待する分野
	問18 これからのまちづくりへの期待
	問19 田村市で特に魅力とを感じるもの（自由記入）
	問20 田村市のまちづくりで大切にしたいキーワード（自由記入）
	問21 田村市の発展にとって特に重要な取り組み（1~3位）
	問22 田村市のまちづくりへの提案やアイデア（自由記入）
5 市民ワークショップの参加意向	問23 市民ワークショップの参加意向

1 最初にあなたご自身のことについてお聴きします。

問1 よろしければ、あなたの性別（自認する性別）をお答えください。（1つに○）

- 回答者の性別は、「男性」（41.3%）、「女性」（58.2%）、「その他」（0.1%）となっています。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「女性」が高くなっています。
- 上記以外では、会社員等、役員・自営等、市外（勤務・通学先）は「男性」が最も高くなっています。

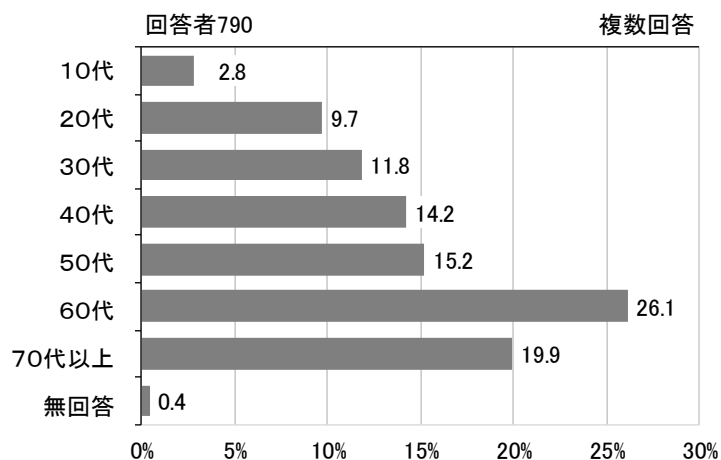
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	男性	女性	その他
年齢	10代	22	31.8	68.2	0.0
	20代	77	48.1	51.9	0.0
	30代	93	37.6	62.4	0.0
	40代	112	46.4	53.6	0.0
	50代	120	44.2	55.8	0.0
	60代	206	43.2	56.3	0.5
	70代以上	157	33.8	65.6	0.0
地区	船引地区	436	44.0	55.7	0.0
	滝根地区	107	35.5	63.6	0.9
	大越地区	86	41.9	58.1	0.0
	都路地区	50	38.0	62.0	0.0
	常葉地区	108	38.0	62.0	0.0
世帯	ひとり暮らし	58	44.8	55.2	0.0
	夫婦のみ	187	29.9	70.1	0.0
	2世代同居	337	48.7	50.7	0.3
	3世代同居	123	37.4	62.6	0.0
	上記以外	79	41.8	58.2	0.0
職業	会社員等	271	55.7	44.3	0.0

属性	区分	回答者	男性	女性	その他
	契約・派遣等	137	22.6	77.4	0.0
	農林漁業	40	40.0	57.5	0.0
	役員・自営等	60	70.0	30.0	0.0
	家事専業	80	7.5	91.3	1.3
	学生	25	32.0	68.0	0.0
	無職	142	43.0	57.0	0.0
	上記以外	26	38.5	61.5	0.0
勤務・通学先	市内	351	41.9	58.1	0.0
	市外	203	54.7	45.3	0.0
	非就労・非通学	185	31.4	67.6	0.5

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- 回答者の年齢は、「60代」(26.1%)が最も高く、「70代以上」(19.9%)、「50代」(15.2%)が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 性別、地区別では、「60代」が最も高くなっています。
- 世帯別では、ひとり暮らし、夫婦のみは「60代」と「70代以上」が高くなっています。
- 職業別では、契約・派遣等は「60代」が最も高く、農林漁業、役員・自営等、家事専業、無職は「60代」と「70代以上」が高くなっています。
- 勤務・通学先別では、市内は「60代」が最も高く、非就労・非通学は「60代」と「70代以上」が高くなっています。

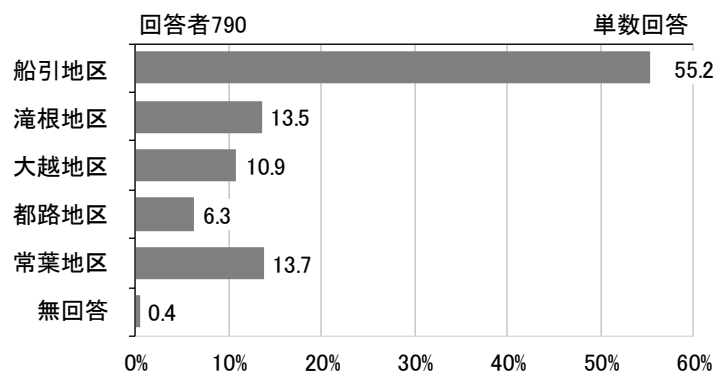
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
性別	男性	326	2.1	11.3	10.7	16.0	16.3	27.3	16.3
	女性	460	3.3	8.7	12.6	13.0	14.6	25.2	22.4
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
地区	船引地区	436	2.8	11.5	13.3	16.1	14.4	23.2	18.8
	滝根地区	107	2.8	5.6	9.3	13.1	16.8	29.0	23.4
	大越地区	86	1.2	9.3	10.5	7.0	23.3	25.6	22.1
	都路地区	50	0.0	10.0	8.0	8.0	14.0	38.0	22.0
	常葉地区	108	5.6	7.4	11.1	16.7	11.1	29.6	18.5
世帯	ひとり暮らし	58	0.0	12.1	1.7	1.7	8.6	37.9	37.9
	夫婦のみ	187	0.5	2.7	4.3	5.9	11.2	36.9	38.5
	2世代同居	337	2.4	8.9	14.8	18.7	19.3	23.7	12.2
	3世代同居	123	7.3	12.2	18.7	18.7	13.0	16.3	13.8
	上記以外	79	5.1	25.3	13.9	17.7	12.7	19.0	6.3
職業	会社員等	271	1.5	18.8	18.1	21.4	23.2	14.8	2.2
	契約・派遣等	137	0.0	5.8	11.7	16.8	16.8	38.0	10.9
	農林漁業	40	0.0	0.0	0.0	2.5	7.5	40.0	50.0
	役員・自営等	60	0.0	5.0	13.3	16.7	15.0	30.0	20.0
	家事専業	80	0.0	3.8	10.0	10.0	8.8	36.3	31.3
	学生	25	68.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

属性	区分	回答者	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	無職	142	0.0	2.1	5.6	4.2	4.9	30.3	52.1
	上記以外	26	3.8	0.0	11.5	19.2	23.1	26.9	15.4
勤務・通学先	市内	351	0.6	10.0	13.4	16.0	19.7	28.8	11.4
	市外	203	9.4	18.7	15.8	20.7	17.2	14.8	3.4
	非就労・非通学	185	0.5	2.2	7.6	7.6	6.5	35.1	40.5

問3 あなたが住んでいる地区をお答えください。（1つに○）

- 回答者の居住地区は、「船引地区」（55.2%）が最も高く、「常葉地区」（13.7%）、「滝根地区」（13.5%）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- ほぼ全ての属性で「船引地区」が最も高くなっています。

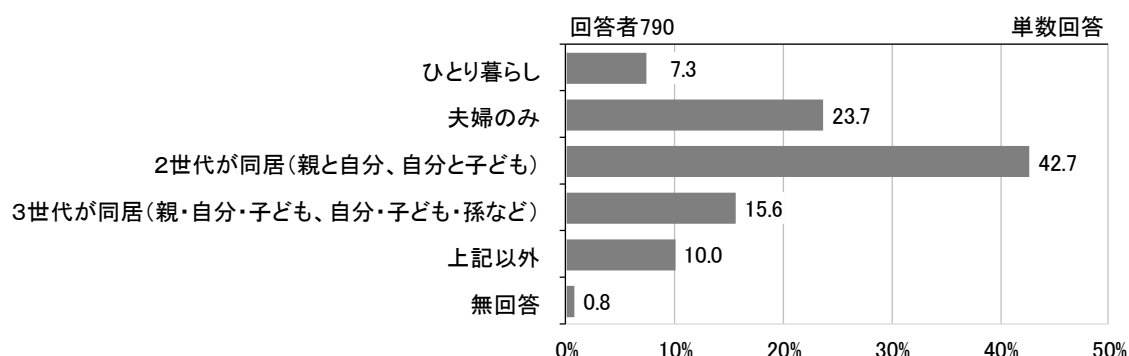
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	船引地区	滝根地区	大越地区	都路地区	常葉地区
性別	男性	326	58.9	11.7	11.0	5.8	12.6
	女性	460	52.8	14.8	10.9	6.7	14.6
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	54.5	13.6	4.5	0.0	27.3
	20代	77	64.9	7.8	10.4	6.5	10.4
	30代	93	62.4	10.8	9.7	4.3	12.9
	40代	112	62.5	12.5	5.4	3.6	16.1
	50代	120	52.5	15.0	16.7	5.8	10.0
	60代	206	49.0	15.0	10.7	9.2	15.5
	70代以上	157	52.2	15.9	12.1	7.0	12.7
世帯	ひとり暮らし	58	41.4	22.4	17.2	8.6	10.3
	夫婦のみ	187	46.0	13.4	12.3	10.2	18.2
	2世代同居	337	57.9	12.5	10.1	5.0	14.2
	3世代同居	123	66.7	12.2	6.5	3.3	11.4
	上記以外	79	59.5	15.2	11.4	6.3	7.6
職業	会社員等	271	59.0	15.9	10.7	5.5	8.9
	契約・派遣等	137	59.1	10.2	11.7	5.8	12.4
	農林漁業	40	62.5	12.5	7.5	7.5	10.0
	役員・自営等	60	48.3	13.3	11.7	5.0	21.7
	家事専業	80	42.5	15.0	12.5	8.8	21.3
	学生	25	52.0	12.0	4.0	4.0	28.0
	無職	142	54.2	14.8	12.0	6.3	12.7
	上記以外	26	50.0	3.8	7.7	11.5	26.9
勤務・通学先	市内	351	55.8	12.3	9.7	8.3	13.7
	市外	203	60.6	13.8	11.3	3.0	11.3
	非就労・非通学	185	50.3	14.6	11.9	5.9	17.3



問4 あなたの家族（同居者）構成をお答えください。（1つに○）

- 回答者の家族構成（世帯）は、「2世代が同居（親と自分、自分と子ども）」（42.7%）が最も高く、「夫婦のみ」（23.7%）、「3世代が同居（親・自分・子ども、自分・子ども・孫など）」（15.6%）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「2世代が同居（親と自分、自分と子ども）」が最も高くなっています。
- 上記以外では、10代と学生は「3世代が同居（親・自分・子ども、自分・子ども・孫など）」も最も高く、70代以上、都路地区、家事専業は「夫婦のみ」が最も高くなっています。

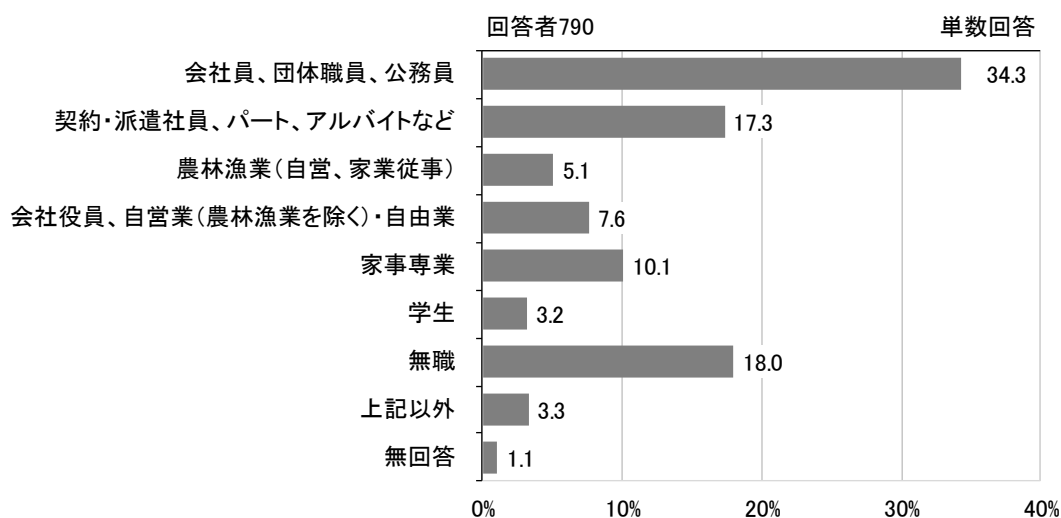
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	ひとり暮らし	夫婦のみ	2世代が同居 (親と自分、自分と子ども)	3世代が同居 (親・自分・子ども、自分・子ども・孫など)	上記以外
性別	男性	326	8.0	17.2	50.3	14.1	10.1
	女性	460	7.0	28.5	37.2	16.7	10.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	0.0	4.5	36.4	40.9	18.2
	20代	77	9.1	6.5	39.0	19.5	26.0
	30代	93	1.1	8.6	53.8	24.7	11.8
	40代	112	0.9	9.8	56.3	20.5	12.5
	50代	120	4.2	17.5	54.2	13.3	8.3
	60代	206	10.7	33.5	38.8	9.7	7.3
	70代以上	157	14.0	45.9	26.1	10.8	3.2
地区	船引地区	436	5.5	19.7	44.7	18.8	10.8
	滝根地区	107	12.1	23.4	39.3	14.0	11.2
	大越地区	86	11.6	26.7	39.5	9.3	10.5
	都路地区	50	10.0	38.0	34.0	8.0	10.0
	常葉地区	108	5.6	31.5	44.4	13.0	5.6
職業	会社員等	271	4.1	14.4	50.9	18.5	12.2
	契約・派遣等	137	7.3	27.0	40.1	18.2	7.3
	農林漁業	40	12.5	30.0	42.5	12.5	2.5
	役員・自営等	60	5.0	21.7	43.3	11.7	18.3

属性	区分	回答者	ひとり暮らし	夫婦のみ	2世代が同居 (親と自分、自分と子ども)	3世代が同居 (親・自分・子ども、自分・子ども・孫など)	上記以外
	家事専業	80	3.8	46.3	38.8	8.8	2.5
	学生	25	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0
	無職	142	14.1	29.6	36.6	11.3	7.0
	上記以外	26	19.2	19.2	30.8	11.5	19.2
勤務・通学先	市内	351	7.4	23.1	43.0	17.1	8.8
	市外	203	3.4	9.9	49.8	20.2	16.7
	非就労・非通学	185	9.2	37.3	37.8	8.6	7.0

問 5 あなたの主な職業をお答えください。（1つに○） ※育児や介護、病気などで一時的に休業中の場合は、現在働いているものとして回答してください。

- 回答者の職業は、「会社員、団体職員、公務員」（34.3％）が最も高く、「無職」（18.0％）、「契約・派遣社員、パート、アルバイトなど」（17.3％）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「会社員、団体職員、公務員」が最も高くなっています。
- 上記以外では、10代は「学生」、70代以上、ひとり暮らし、夫婦のみ、非就労・非通学は「無職」、60代は「契約・派遣社員、パート、アルバイトなど」がそれぞれ最も高くなっています。

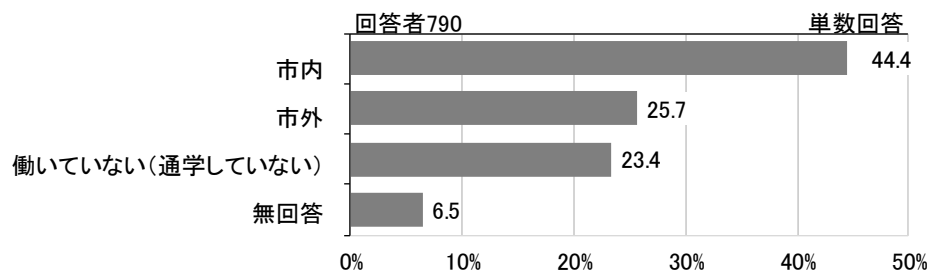
回答者は人数、数値は％、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	会社員、団体職員、公務員	契約・派遣社員、パート、アルバイトなど	農林漁業（自営、家業従事）	会社役員、自営業（農林漁業を除く）・自由業	家事専業	学生	無職	上記以外
性別	男性	326	46.3	9.5	4.9	12.9	1.8	2.5	18.7	3.1
	女性	460	26.1	23.0	5.0	3.9	15.9	3.7	17.6	3.5
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	77.3	0.0	4.5
	20代	77	66.2	10.4	0.0	3.9	3.9	10.4	3.9	0.0
	30代	93	52.7	17.2	0.0	8.6	8.6	0.0	8.6	3.2
	40代	112	51.8	20.5	0.9	8.9	7.1	0.0	5.4	4.5
	50代	120	52.5	19.2	2.5	7.5	5.8	0.0	5.8	5.0
	60代	206	19.4	25.2	7.8	8.7	14.1	0.0	20.9	3.4
	70代以上	157	3.8	9.6	12.7	7.6	15.9	0.0	47.1	2.5
地区	船引地区	436	36.7	18.6	5.7	6.7	7.8	3.0	17.7	3.0
	滝根地区	107	40.2	13.1	4.7	7.5	11.2	2.8	19.6	0.9
	大越地区	86	33.7	18.6	3.5	8.1	11.6	1.2	19.8	2.3

属性	区分	回答者	会社員、団体職員、公務員	契約・派遣社員、パート、アルバイトなど	農林漁業（自営、家業従事）	会社役員、自営業（農林漁業を除く）・自由業	家事専業	学生	無職	上記以外
	都路地区	50	30.0	16.0	6.0	6.0	14.0	2.0	18.0	6.0
	常葉地区	108	22.2	15.7	3.7	12.0	15.7	6.5	16.7	6.5
世帯	ひとり暮らし	58	19.0	17.2	8.6	5.2	5.2	0.0	34.5	8.6
	夫婦のみ	187	20.9	19.8	6.4	7.0	19.8	0.0	22.5	2.7
	2世代同居	337	40.9	16.3	5.0	7.7	9.2	3.0	15.4	2.4
	3世代同居	123	40.7	20.3	4.1	5.7	5.7	8.1	13.0	2.4
	上記以外	79	41.8	12.7	1.3	13.9	2.5	6.3	12.7	6.3
勤務・通学先	市内	351	43.6	27.9	5.7	13.4	2.8	0.3	1.4	4.3
	市外	203	58.1	19.2	1.5	5.4	0.0	11.8	0.5	2.5
	非就労・非通学	185	0.0	0.0	4.9	1.1	31.9	0.0	59.5	2.7

問 6 あなたが主に働いている会社、または通学している学校の所在地をお答えください。
(1つに○)

- 回答者の勤務・通学先は、「市内」(44.4%)が最も高く、「市外」(25.7%)、「働いていない(通学していない)」(23.4%)が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「市内」が最も高くなっています。
- 上記以外では、10代、20代、世帯の上記以外、学生は「市外」が最も高く、70代以上、家事専業、無職は「働いていない(通学していない)」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

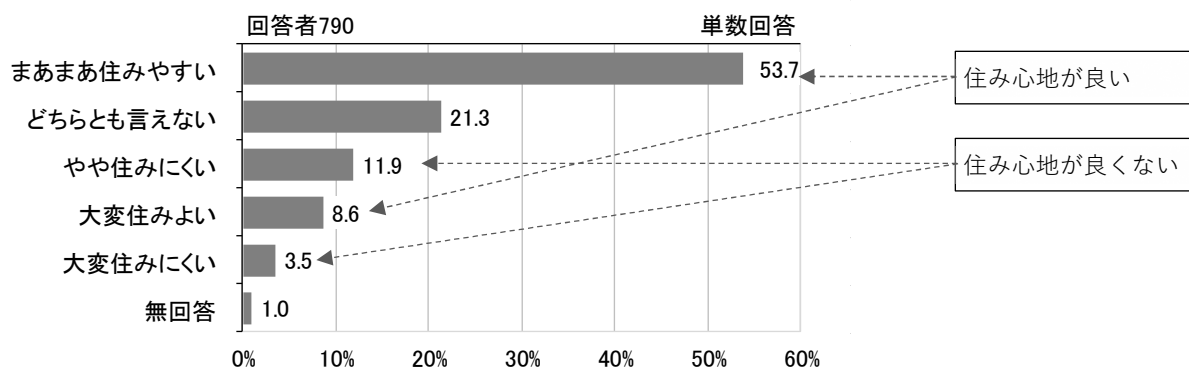
属性	区分	回答者	市内 (勤務・通学先)	市外 (勤務・通学先)	働いていない (通学していない)
性別	男性	326	45.1	34.0	17.8
	女性	460	44.3	20.0	27.2
	その他	1	0.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	9.1	86.4	4.5
	20代	77	45.5	49.4	5.2
	30代	93	50.5	34.4	15.1
	40代	112	50.0	37.5	12.5
	50代	120	57.5	29.2	10.0
	60代	206	49.0	14.6	31.6
	70代以上	157	25.5	4.5	47.8
地区	船引地区	436	45.0	28.2	21.3
	滝根地区	107	40.2	26.2	25.2
	大越地区	86	39.5	26.7	25.6
	都路地区	50	58.0	12.0	22.0
	常葉地区	108	44.4	21.3	29.6
世帯	ひとり暮らし	58	44.8	12.1	29.3
	夫婦のみ	187	43.3	10.7	36.9
	2世代同居	337	44.8	30.0	20.8
	3世代同居	123	48.8	33.3	13.0
	上記以外	79	39.2	43.0	16.5
職業	会社員等	271	56.5	43.5	0.0
	契約・派遣等	137	71.5	28.5	0.0
	農林漁業	40	50.0	7.5	22.5
	役員・自営等	60	78.3	18.3	3.3

属性	区分	回答者	市内 (勤務・通学先)	市外 (勤務・通学先)	働いていない (通学していない)
	家事専業	80	12.5	0.0	73.8
	学生	25	4.0	96.0	0.0
	無職	142	3.5	0.7	77.5
	上記以外	26	57.7	19.2	19.2

2 田村市の住み心地や定住意向についてお聴きします。

問7 あなたにとって、田村市の住み心地はいかがですか。（1つに○）

- 田村市の住み心地は、「まあまあ住みやすい」（53.7%）が最も高く、「どちらとも言えない」（21.3%）、「やや住みにくい」（11.9%）が続きます。
- 『住み心地が良い』（大変住みよい+まあまあ住みやすいの合計）は62.3%となり、『住み心地が良くない』（やや住みにくい+大変住みにくいの合計）の15.4%を大きく上回ります。



【回答者属性別の傾向】

- ほぼ全ての属性で「まあまあ住みやすい」が最も高く、『住み心地が良い』（大変住みよい+まあまあ住みやすいの合計）が50%を超えています。
- 『住み心地が良い』（大変住みよい+まあまあ住みやすいの合計）が特に高い属性をみると、都路地区、夫婦のみ、役員・自営等が70%台となっています。

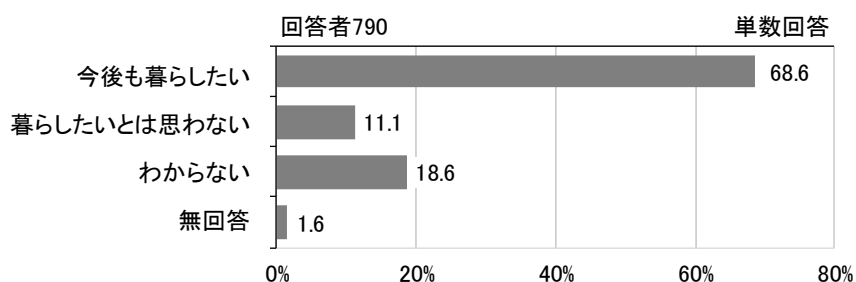
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	住み心地が良い		どちらとも言えない	住み心地が良くない		『住み心地が良い』	『住み心地が良くない』
			大変住みよい	まあまあ住みやすい		やや住みにくい	大変住みにくい		
性別	男性	326	8.6	50.6	23.0	12.3	4.9	59.2	17.2
	女性	460	8.7	56.1	20.2	11.7	2.2	64.8	13.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	13.6	54.5	18.2	9.1	4.5	68.1	13.6
	20代	77	3.9	57.1	22.1	14.3	1.3	61.0	15.6
	30代	93	3.2	55.9	20.4	11.8	7.5	59.1	19.3
	40代	112	8.0	56.3	17.0	12.5	6.3	64.3	18.8
	50代	120	8.3	48.3	25.8	14.2	1.7	56.6	15.9
	60代	206	9.2	53.4	23.3	11.7	2.4	62.6	14.1
	70代以上	157	13.4	54.1	19.1	9.6	2.5	67.5	12.1

属性	区分	回答者	住み心地が良い		どちらとも言えない	住み心地が良くない		『住み心地が良い』	『住み心地が良くない』
			大変住みよい	まあまあ住みやすい		やや住みにくい	大変住みにくい		
地区	船引地区	436	10.1	53.4	22.2	11.0	2.1	63.5	13.1
	滝根地区	107	5.6	57.9	18.7	13.1	4.7	63.5	17.8
	大越地区	86	2.3	43.0	25.6	19.8	7.0	45.3	26.8
	都路地区	50	14.0	56.0	18.0	8.0	4.0	70.0	12.0
	常葉地区	108	8.3	59.3	17.6	10.2	4.6	67.6	14.8
世帯	ひとり暮らし	58	5.2	55.2	17.2	13.8	6.9	60.4	20.7
	夫婦のみ	187	12.3	57.8	16.0	12.3	1.6	70.1	13.9
	2世代同居	337	7.1	53.4	23.7	11.0	3.9	60.5	14.9
	3世代同居	123	7.3	53.7	22.8	13.0	3.3	61.0	16.3
	上記以外	79	11.4	46.8	24.1	12.7	3.8	58.2	16.5
職業	会社員等	271	4.8	55.0	24.0	12.5	3.3	59.8	15.8
	契約・派遣等	137	12.4	48.9	19.7	16.1	2.2	61.3	18.3
	農林漁業	40	12.5	52.5	17.5	10.0	5.0	65.0	15.0
	役員・自営等	60	6.7	63.3	16.7	10.0	3.3	70.0	13.3
	家事専業	80	13.8	48.8	22.5	12.5	2.5	62.6	15.0
	学生	25	12.0	56.0	16.0	12.0	4.0	68.0	16.0
	無職	142	9.9	53.5	21.8	8.5	4.9	63.4	13.4
	上記以外	26	3.8	57.7	19.2	11.5	3.8	61.5	15.3
勤務・通学先	市内	351	8.5	55.8	20.2	12.3	2.3	64.3	14.6
	市外	203	5.4	54.2	23.2	11.8	4.4	59.6	16.2
	非就労・非通学	185	10.3	50.3	22.2	11.9	4.9	60.6	16.8

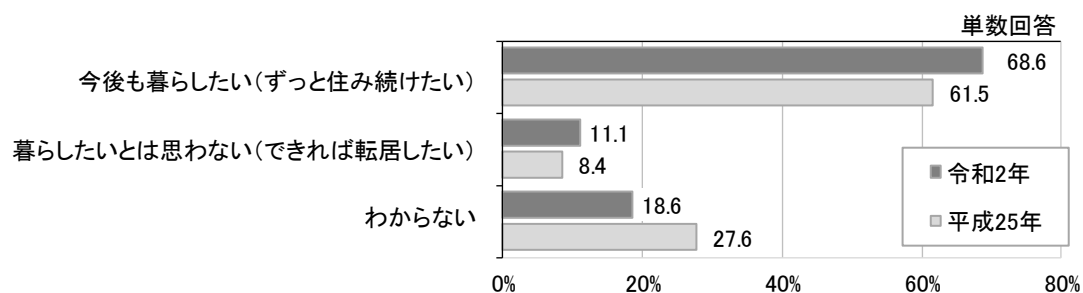
問 8 あなたは、今後も田村市で住み続けたいですか。（1つに○）

- 今後の市内居住意向は、「今後も暮らしたい」（68.6％）が最も高く、「暮らしたいとは思わない」（11.1％）、「わからない」（18.6％）となっています。



平成 25 年調査との比較

- 平成 25 年調査から「わからない」が 9.0 ポイント低下し、「今後も暮らしたい」が 7.1 ポイント高くなっています。



* () は平成 25 年調査の選択項目

【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「今後も暮らしたい」が最も高くなっています。
○ 上記以外では、10代と学生は「わからない」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は％、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

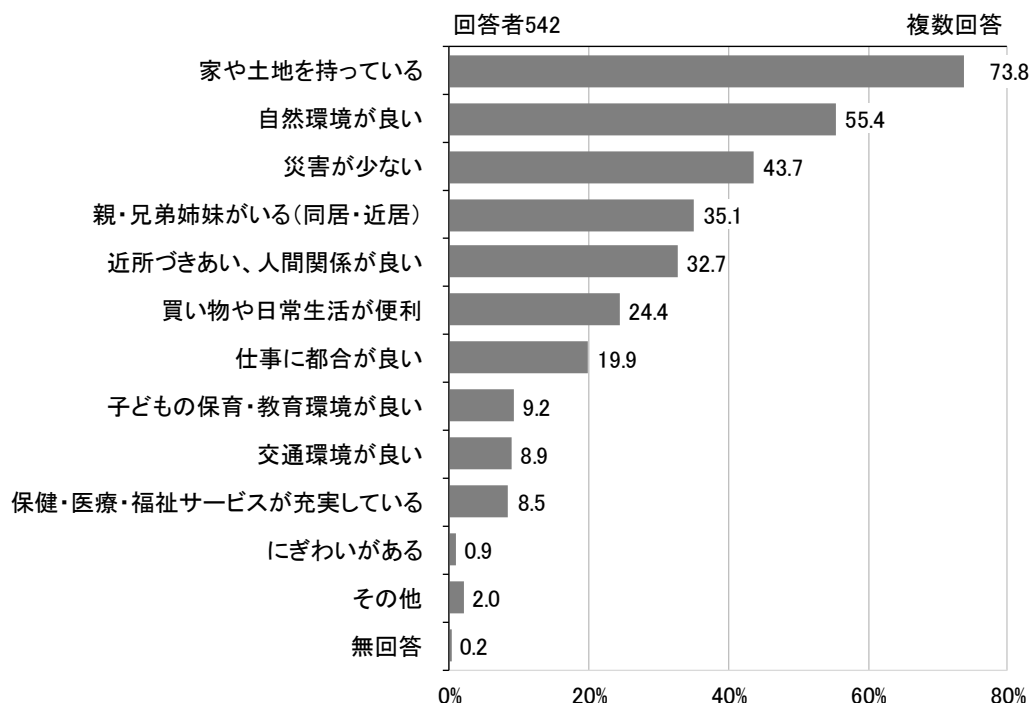
属性	区分	回答者	今後も暮らしたい	暮らしたいとは思わない	わからない
性別	男性	326	71.8	10.1	17.2
	女性	460	66.7	11.5	19.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0
年齢	10代	22	31.8	22.7	45.5
	20代	77	44.2	15.6	39.0
	30代	93	54.8	16.1	26.9
	40代	112	68.8	11.6	18.8
	50代	120	69.2	12.5	18.3
	60代	206	78.2	7.8	12.1
	70代以上	157	82.2	7.0	8.9

属性	区分	回答者	今後 も暮ら したい	暮ら したい と思 わない	わ か ら な い
地区	船引地区	436	69.3	10.1	20.2
	滝根地区	107	73.8	10.3	15.0
	大越地区	86	53.5	18.6	22.1
	都路地区	50	74.0	10.0	10.0
	常葉地区	108	72.2	9.3	17.6
世帯	ひとり暮らし	58	65.5	15.5	17.2
	夫婦のみ	187	75.9	9.1	13.4
	2世代同居	337	68.8	11.0	18.7
	3世代同居	123	66.7	13.8	18.7
	上記以外	79	58.2	8.9	31.6
職業	会社員等	271	63.8	11.8	23.2
	契約・派遣等	137	69.3	11.7	19.0
	農林漁業	40	77.5	15.0	5.0
	役員・自営等	60	76.7	5.0	16.7
	家事専業	80	71.3	10.0	16.3
	学生	25	28.0	32.0	40.0
	無職	142	76.8	9.2	12.0
	上記以外	26	69.2	3.8	19.2
勤務・ 通学先	市内	351	72.4	9.1	17.1
	市外	203	54.7	15.8	28.6
	非就労・非通学	185	74.6	10.8	12.4

前問で「1. 今後も暮らしたい」と答えた方にお尋ねします。

付問1 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- 市内居住意向の高い人の住み続けたい主な理由は、「家や土地を持っている」（73.8%）が最も高く、「自然環境が良い」（55.4%）、「災害が少ない」（43.7%）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「家や土地を持っている」が最も高くなっています。
- 上記以外では、10代、20代、都路地区、ひとり暮らし、学生、職業の上記以外は「自然環境が良い」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

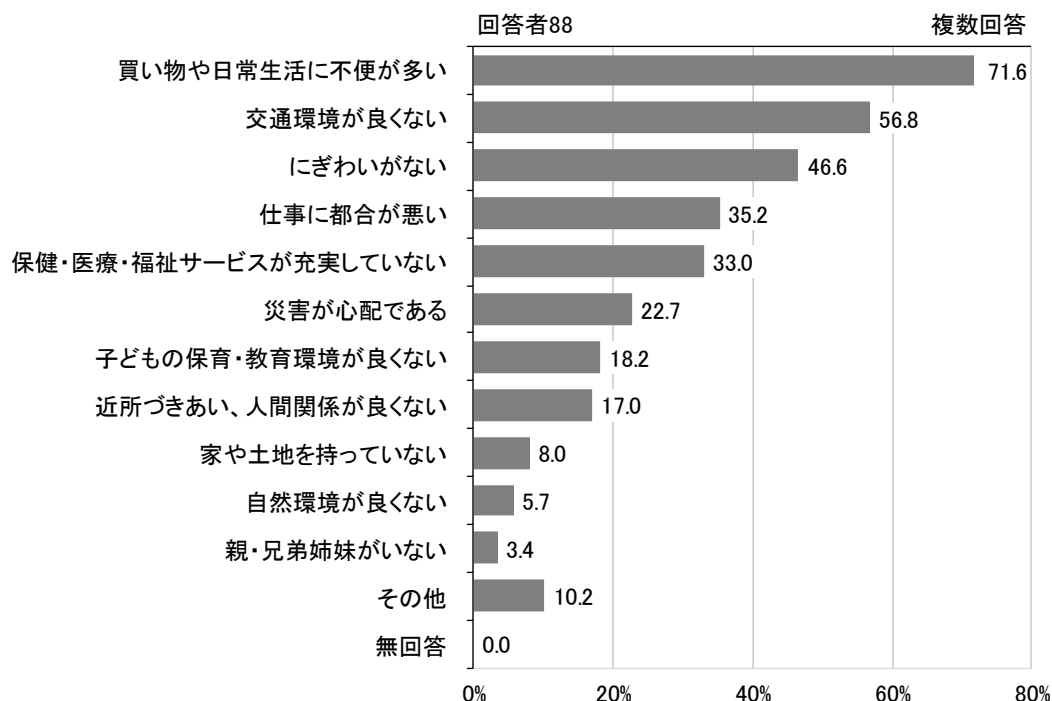
属性	区分	回答者	自然環境が良い	近所づきあい、人間関係が良い	子どもの保育・教育環境が良い	保健・医療・福祉サービスが充実している	買い物や日常生活が便利	交通環境が良い	災害が少ない	にぎわいがある	仕事に都合が良い	親・兄弟姉妹がいる(同居・近居)	家や土地を持っている	その他
性別	男性	234	52.6	29.9	7.7	6.4	19.7	8.5	40.6	0.9	18.8	29.5	75.6	1.7
	女性	307	57.7	34.9	10.4	10.1	28.0	9.1	46.3	1.0	20.8	39.4	72.3	2.3
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	7	71.4	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0
	20代	34	52.9	26.5	5.9	8.8	41.2	14.7	29.4	5.9	44.1	47.1	38.2	0.0
	30代	51	41.2	21.6	31.4	9.8	29.4	5.9	31.4	0.0	19.6	45.1	70.6	2.0

属性	区分	回答者	自然環境が良い	近所づきあい、人間関係が良い	子どもの保育・教育環境が良い	保健・医療・福祉サービスが充実している	買い物や日常生活が便利	交通環境が良い	災害が少ない	にぎわいがある	仕事に都合が良い	親・兄弟姉妹がいる（同居・近居）	家や土地を持っている	その他
	40代	77	49.4	23.4	19.5	7.8	19.5	7.8	33.8	0.0	27.3	42.9	70.1	1.3
	50代	83	59.0	16.9	6.0	6.0	25.3	6.0	43.4	0.0	24.1	30.1	69.9	2.4
	60代	161	56.5	34.8	5.0	6.2	21.1	9.9	54.0	0.6	17.4	34.2	80.1	1.9
	70代以上	129	60.5	51.9	3.1	13.2	24.0	10.1	45.0	1.6	10.9	27.1	83.7	3.1
地区	船引地区	302	50.7	29.8	9.6	9.3	33.1	12.6	41.7	1.7	21.9	32.5	72.8	3.0
	滝根地区	79	59.5	29.1	8.9	6.3	8.9	6.3	55.7	0.0	20.3	45.6	75.9	0.0
	大越地区	46	60.9	28.3	13.0	8.7	13.0	4.3	50.0	0.0	10.9	39.1	71.7	4.3
	都路地区	37	73.0	54.1	0.0	10.8	10.8	0.0	29.7	0.0	16.2	29.7	73.0	0.0
	常葉地区	78	57.7	39.7	10.3	6.4	19.2	3.8	42.3	0.0	19.2	34.6	76.9	0.0
世帯	ひとり暮らし	38	63.2	34.2	0.0	7.9	21.1	7.9	34.2	0.0	23.7	26.3	63.2	2.6
	夫婦のみ	142	67.6	42.3	4.9	10.6	24.6	8.5	48.6	0.7	16.2	28.2	80.3	0.7
	2世代同居	232	51.7	30.2	10.8	7.3	21.6	9.5	41.4	0.9	20.7	37.9	75.0	2.6
	3世代同居	82	41.5	25.6	15.9	7.3	23.2	7.3	36.6	2.4	20.7	42.7	78.0	3.7
	上記以外	46	52.2	28.3	10.9	10.9	43.5	10.9	63.0	0.0	23.9	37.0	52.2	0.0
職業	会社員等	173	50.3	20.8	11.6	5.2	20.2	6.9	38.2	0.6	31.8	38.2	74.6	2.3
	契約・派遣等	95	55.8	28.4	11.6	14.7	26.3	10.5	45.3	2.1	28.4	26.3	75.8	1.1
	農林漁業	31	58.1	38.7	3.2	16.1	16.1	9.7	32.3	0.0	16.1	32.3	90.3	6.5
	役員・自営等	46	56.5	39.1	13.0	4.3	26.1	8.7	45.7	0.0	32.6	37.0	73.9	0.0
	家事専業	57	71.9	40.4	10.5	5.3	35.1	8.8	43.9	1.8	5.3	40.4	77.2	0.0
	学生	7	71.4	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0
	無職	109	50.5	50.5	4.6	11.0	22.0	10.1	52.3	0.9	0.9	35.8	74.3	2.8
	上記以外	18	61.1	22.2	0.0	5.6	38.9	16.7	50.0	0.0	11.1	38.9	44.4	5.6
勤務・通学先	市内	254	56.3	30.7	11.4	8.7	25.2	9.8	44.5	1.2	37.4	32.7	71.3	2.4
	市外	111	46.8	18.9	10.8	5.4	21.6	5.4	36.9	0.9	8.1	36.0	76.6	1.8
	非就労・非通学	138	61.6	44.9	6.5	9.4	27.5	11.6	50.0	0.7	1.4	39.1	77.5	0.7

前問で「2. 暮らしたいとは思わない」と答えた方にお尋ねします。

付問2 あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- 市内居住意向が低い人の住みたくない主な理由は、「買い物や日常生活に不便が多い」（71.6%）が最も高く、「交通環境が良くない」（56.8%）、「にぎわいがない」（46.6%）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性で「買い物や日常生活に不便が多い」が最も高くなっています。
- 上記以外では、60代、都路地区、農林漁業は「交通環境が良くない」、男性、常葉地区、役員・自営等は「にぎわいがない」が最も高くなっています。

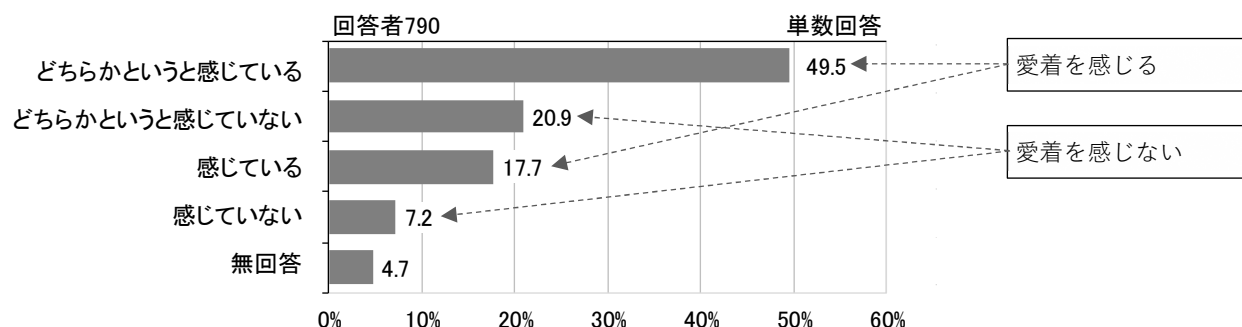
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	理由											
			自然環境が良くない	近所づきあい、人間関係が良くない	子どもの保育・教育環境が良くない	保健・医療・福祉サービスが充実していない	買い物や日常生活に不便が多い	交通環境が良くない	災害が心配である	にぎわいがない	仕事に都合が悪い	親・兄弟姉妹がいない	家や土地を持っていない	その他
性別	男性	33	3.0	21.2	24.2	36.4	54.5	57.6	24.2	63.6	45.5	0.0	12.1	9.1
	女性	53	7.5	15.1	15.1	32.1	83.0	56.6	20.8	37.7	28.3	5.7	5.7	9.4
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

属性	区分	回答者	自然環境が良くない	近所づきあい、人間関係が良くない	子どもの保育・教育環境が良くない	保健・医療・福祉サービスが充実していない	買い物や日常生活に不便が多い	交通環境が良くない	災害が心配である	にぎわいが無い	仕事に都合が悪い	親・兄弟姉妹がいない	家や土地を持っていない	その他
年齢	10代	5	20.0	20.0	40.0	20.0	80.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	20代	12	8.3	8.3	8.3	8.3	75.0	41.7	25.0	33.3	50.0	0.0	8.3	0.0
	30代	15	6.7	6.7	53.3	46.7	80.0	66.7	33.3	46.7	40.0	0.0	6.7	6.7
	40代	13	0.0	38.5	7.7	46.2	76.9	61.5	15.4	69.2	53.8	0.0	0.0	30.8
	50代	15	6.7	26.7	13.3	26.7	60.0	53.3	26.7	40.0	20.0	13.3	13.3	6.7
	60代	16	6.3	0.0	12.5	37.5	56.3	62.5	31.3	25.0	31.3	0.0	6.3	6.3
	70代以上	11	0.0	27.3	0.0	36.4	90.9	54.5	9.1	72.7	9.1	9.1	9.1	9.1
地区	船引地区	44	9.1	25.0	27.3	34.1	61.4	54.5	25.0	47.7	36.4	4.5	6.8	4.5
	滝根地区	11	9.1	9.1	0.0	36.4	81.8	63.6	27.3	27.3	18.2	0.0	9.1	27.3
	大越地区	16	0.0	12.5	12.5	25.0	93.8	56.3	6.3	56.3	37.5	6.3	12.5	6.3
	都路地区	5	0.0	0.0	40.0	80.0	100.0	100.0	40.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	常葉地区	10	0.0	10.0	0.0	20.0	60.0	40.0	20.0	60.0	40.0	0.0	10.0	20.0
世帯	ひとり暮らし	9	0.0	22.2	0.0	44.4	88.9	55.6	0.0	66.7	22.2	11.1	11.1	11.1
	夫婦のみ	17	17.6	5.9	11.8	35.3	52.9	47.1	17.6	35.3	17.6	5.9	11.8	11.8
	2世代同居	37	5.4	21.6	24.3	35.1	70.3	54.1	37.8	48.6	37.8	2.7	8.1	8.1
	3世代同居	17	0.0	17.6	29.4	29.4	82.4	76.5	11.8	58.8	64.7	0.0	0.0	0.0
	上記以外	7	0.0	14.3	0.0	14.3	85.7	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6
職業	会社員等	32	9.4	15.6	25.0	34.4	65.6	56.3	28.1	50.0	40.6	6.3	9.4	3.1
	契約・派遣等	16	0.0	12.5	18.8	31.3	75.0	50.0	25.0	37.5	31.3	0.0	6.3	12.5
	農林漁業	6	0.0	16.7	0.0	50.0	83.3	83.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7
	役員・自営等	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3
	家事専業	8	12.5	0.0	25.0	50.0	100.0	87.5	25.0	37.5	37.5	0.0	12.5	0.0
	学生	8	0.0	12.5	25.0	0.0	75.0	50.0	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0
	無職	13	7.7	38.5	7.7	46.2	69.2	53.8	15.4	53.8	38.5	7.7	7.7	23.1
	上記以外	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
勤務・通学先	市内	32	6.3	12.5	31.3	31.3	71.9	62.5	28.1	59.4	25.0	3.1	3.1	9.4
	市外	32	3.1	15.6	9.4	25.0	65.6	46.9	21.9	37.5	43.8	3.1	12.5	6.3
	非就労・非通学	20	5.0	30.0	15.0	45.0	80.0	65.0	15.0	45.0	45.0	5.0	10.0	15.0

問 9 田村市へ愛着や誇りを感じていますか。（1つに○）

- 田村市への愛着や誇りの自覚は、「どちらかというと感じている」（49.5%）が最も高く、「どちらかというと感じていない」（20.9%）、「感じている」（17.7%）が続きます。
- 『愛着を感じる』（感じている＋どちらかというと感じているの合計）は67.2%であり、『愛着を感じない』（どちらかというと感じていない＋感じていないの合計）の28.1%を大きく上回ります。



【回答者属性別の傾向】

- ほぼ全ての属性で「どちらかというと感じている」が最も高く、『愛着を感じる』（感じている＋どちらかというと感じているの合計）が50%を超えています。
- 『愛着を感じる』（感じている＋どちらかというと感じているの合計）が特に高い属性をみると、10代、70代以上、滝根地区、都路地区、常葉地区、世帯の上記以外、農林漁業、役員・自営等、学生、市内（勤務・通学先）が70%を超えています。

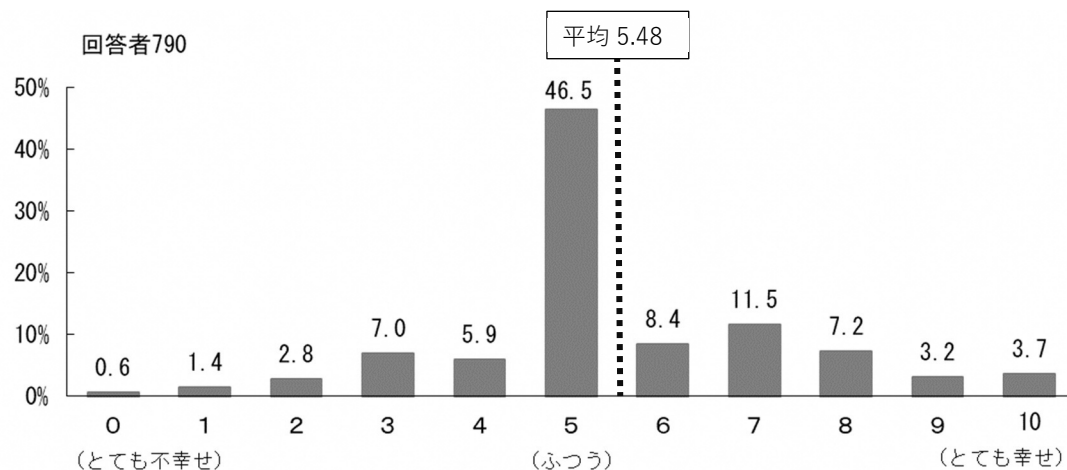
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	愛着を感じる		愛着を感じない		『愛着を感じる』	『愛着を感じない』
			感じている	どちらかというと感じている	どちらかというと感じていない	感じていない		
性別	男性	326	18.7	50.6	17.8	8.0	69.3	25.8
	女性	460	17.2	48.9	23.0	6.5	66.1	29.5
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	22.7	63.6	9.1	4.5	86.3	13.6
	20代	77	16.9	48.1	23.4	9.1	65.0	32.5
	30代	93	16.1	48.4	20.4	10.8	64.5	31.2
	40代	112	15.2	47.3	24.1	8.9	62.5	33.0
	50代	120	13.3	50.0	25.0	7.5	63.3	32.5
	60代	206	17.5	51.5	20.9	5.3	69.0	26.2
	70代以上	157	24.2	48.4	16.6	5.1	72.6	21.7
地区	船引地区	436	16.5	48.9	22.7	7.6	65.4	30.3
	滝根地区	107	16.8	56.1	20.6	5.6	72.9	26.2
	大越地区	86	14.0	44.2	29.1	7.0	58.2	36.1
	都路地区	50	26.0	50.0	14.0	2.0	76.0	16.0
	常葉地区	108	23.1	50.0	11.1	9.3	73.1	20.4

属性	区分	回答者	愛着を感じる		愛着を感じない		『愛着を感じる』	『愛着を感じない』
			感じている	どちらかという 感じている	どちらかという 感じていない	感じていない		
世帯	ひとり暮らし	58	15.5	48.3	20.7	5.2	63.8	25.9
	夫婦のみ	187	21.4	44.9	24.1	5.9	66.3	30.0
	2世代同居	337	16.6	52.2	18.7	8.6	68.8	27.3
	3世代同居	123	17.1	48.8	26.0	4.9	65.9	30.9
	上記以外	79	17.7	53.2	16.5	7.6	70.9	24.1
職業	会社員等	271	14.8	54.6	21.0	8.1	69.4	29.1
	契約・派遣等	137	21.2	39.4	30.7	4.4	60.6	35.1
	農林漁業	40	22.5	57.5	12.5	5.0	80.0	17.5
	役員・自営等	60	15.0	56.7	13.3	1.7	71.7	15.0
	家事専業	80	17.5	47.5	17.5	8.8	65.0	26.3
	学生	25	16.0	64.0	16.0	4.0	80.0	20.0
	無職	142	20.4	43.0	20.4	10.6	63.4	31.0
	上記以外	26	11.5	53.8	23.1	7.7	65.3	30.8
勤務・ 通学先	市内	351	18.8	51.6	18.8	5.7	70.4	24.5
	市外	203	14.8	51.7	24.6	7.4	66.5	32.0
	非就労・非通学	185	16.8	45.4	20.5	10.8	62.2	31.3

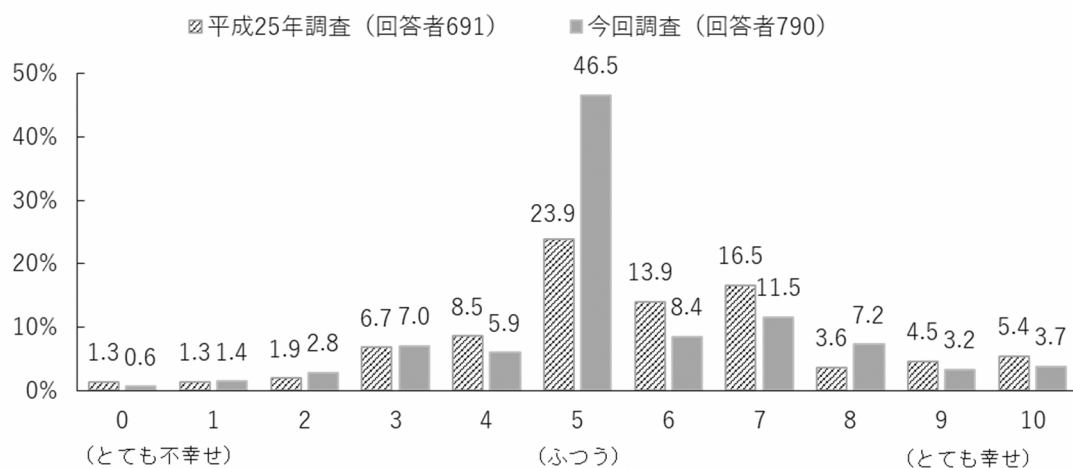
問 10 現在のあなたの幸福度はどのくらいですか。（1つに○）

- 回答者の市民幸福度（11段階評価。5＝ふつう）は、「5（ふつう）」（46.5%）が最も高く、幸福により近づく「7」（11.5%）、「6」（8.4%）が続きます。
- 市民幸福度は平均 5.48 であり、「幸福」にやや寄っています（平均は無回答を除いた回答者 775 で算出）。



平成 25 年調査との比較

- 今回の結果は平成 25 年調査から「5」が 22.6 ポイント高くなっています。
- 平成 25 年調査の幸福度の平均は 5.96 であり、平均は今回が 0.48 ポイント低下しています。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性区分で「5（ふつう）」が最も高くなっています。
- 幸福度を「0～4（不幸に近い）」、「5（ふつう）」、「6～10（幸福に近い）」の3段階で見ると、10代、40代、常葉地区、役員・自営等、学生は「6～10（幸福に近い）」が高くなっています。

回答者は人数、数値は％、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	0～4	5	6～10
性別	男性	326	19.9	42.3	35.6
	女性	460	15.7	49.8	32.8
	その他	1	100.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	4.5	31.8	63.6
	20代	77	10.4	45.5	44.2
	30代	93	26.0	35.5	34.5
	40代	112	25.1	33.9	39.4
	50代	120	20.8	49.2	27.5
	60代	206	15.6	50.0	33.0
	70代以上	157	13.4	58.0	27.5
地区	船引地区	436	19.4	45.2	33.5
	滝根地区	107	10.2	52.3	36.4
	大越地区	86	22.1	51.2	23.4
	都路地区	50	20.0	50.0	28.0
	常葉地区	108	13.9	41.7	44.5
世帯	ひとり暮らし	58	20.7	48.3	25.9
	夫婦のみ	187	10.6	55.6	33.6
	2世代同居	337	22.6	41.2	35.4
	3世代同居	123	17.8	43.1	35.8
	上記以外	79	10.1	53.2	34.3
職業	会社員等	271	19.1	39.9	39.1
	契約・派遣等	137	15.4	54.7	29.8
	農林漁業	40	20.0	47.5	32.5
	役員・自営等	60	15.0	36.7	45.0
	家事専業	80	18.8	48.8	31.4
	学生	25	8.0	32.0	60.0
	無職	142	18.9	54.9	23.1
	上記以外	26	15.3	53.8	30.6
勤務・通学先	市内	351	16.4	44.7	37.5
	市外	203	18.3	44.8	36.0
	非就労・非通学	185	21.0	47.6	28.7

3 田村市の取り組みへの満足度、今後の重要度についてお聴きします。

問 11 あなたは、まちづくりの取り組みについて、どの程度満足していますか。また、今後はどの程度重要だと考えますか。ご自身の生活と関連が少ない項目についても、できるだけお答えください。（各項目の ①満足度、 ②今後の重要度 にそれぞれ1つずつ○）

分野 1 地域を活かす産業の振興（産業）

〔施策の満足度〕

- 施策の取り組みに一定の評価を示す『満足度』（満足＋やや満足＋ふつうの合計）は、「農業・畜産業の振興」（52.4％）が最も高く、「林業の振興」（51.8％）「工業の振興」（50.9％）が続きます【太枠】。
- 一方、施策の『不満度』（やや不満＋不満の合計）は、「雇用の確保」（54.1％）が最も高く、「商業の振興」（53.1％）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第 1 位	満足度			不満度		無回答	『満足度』	『不満度』
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満			
農業・畜産業の振興	0.8	4.3	47.3	31.1	10.3	6.2	52.4	41.4
林業の振興	1.1	1.6	49.1	25.8	12.5	9.7	51.8	38.3
工業の振興	0.4	5.7	44.8	31.0	11.6	6.5	50.9	42.6
商業の振興	1.0	4.4	35.6	32.7	20.4	5.9	41.0	53.1
観光ネットワークの形成	0.5	3.5	44.2	33.0	11.5	7.2	48.2	44.5
雇用の確保	0.9	2.9	35.6	35.6	18.5	6.6	39.4	54.1

〔今後の重要度〕

- 今後の施策の『重要度』（重要＋やや重要の合計）は、「雇用の確保」（74.4％）が最も高く、「商業の振興」（68.9％）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第 1 位	重要度		ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	『重要度』
	重要	やや重要					
農業・畜産業の振興	31.4	31.1	24.3	2.5	0.4	10.3	62.5
林業の振興	23.4	30.4	28.6	5.4	1.3	10.9	53.8
工業の振興	41.5	27.1	20.8	1.1	0.5	9.0	68.6
商業の振興	41.3	27.6	21.0	1.4	0.5	8.2	68.9
観光ネットワークの形成	32.3	30.3	24.6	2.8	0.8	9.4	62.6
雇用の確保	49.2	25.2	16.1	0.8	0.6	8.1	74.4

分野2 健康づくりと福祉の充実（健康・福祉）

〔施策の満足度〕

- 施策の取り組みに一定の評価を示す『満足度』（満足+やや満足+ふつうの合計）は、「生涯にわたる健康づくりの推進」（74.7%）が最も高く、「障害者支援施策の充実」と「地域福祉の充実」（ともに72.0%）が続きます【太枠】。
- 一方、施策の『不満度』（やや不満+不満の合計）は、「医療提供体制の充実」（40.3%）が最も高く、「子育て支援施策の推進」（25.9%）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第1位	満足度			不満度		無回答	『満足度』	『不満度』
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満			
医療提供体制の充実	2.4	12.0	41.4	26.5	13.8	3.9	55.8	40.3
生涯にわたる健康づくりの推進	2.8	9.6	62.3	16.8	4.3	4.2	74.7	21.1
高齢者支援施策の充実	3.2	12.0	54.8	18.1	7.5	4.4	70.0	25.6
障害者支援施策の充実	1.6	8.4	62.0	17.7	5.3	4.9	72.0	23.0
子育て支援施策の推進	2.4	11.9	53.9	18.9	7.0	5.9	68.2	25.9
地域福祉の充実	1.5	9.2	61.3	18.4	5.1	4.6	72.0	23.5

〔今後の重要度〕

- 今後の施策の『重要度』（重要+やや重要の合計）は、「医療提供体制の充実」（79.8%）が最も高く、「高齢者支援施策の充実」（68.4%）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第1位	重要度		ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	『重要度』
	重要	やや重要					
医療提供体制の充実	55.6	24.2	13.2	0.8	0.4	5.9	79.8
生涯にわたる健康づくりの推進	32.5	31.3	28.0	1.0	0.5	6.7	63.8
高齢者支援施策の充実	42.3	26.1	24.6	0.9	0.3	5.9	68.4
障害者支援施策の充実	30.6	28.7	32.2	1.1	0.4	7.0	59.3
子育て支援施策の推進	44.9	22.9	23.2	0.6	0.6	7.7	67.8
地域福祉の充実	35.8	27.7	28.4	1.1	0.3	6.7	63.5

分野3 未来を担うひとづくり（教育・生涯学習）

〔施策の満足度〕

- 施策の取り組みに一定の評価を示す『満足度』（満足+やや満足+ふつうの合計）は、「文化財の保存と継承」（76.4%）が最も高く、「青少年の健全育成」（74.3%）「国内外での広域的な交流の推進」（73.3%）が続きます【太枠】。
- 一方、施策の『不満度』（やや不満+不満の合計）は、「生涯学習の充実」（26.4%）が最も高く、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」（24.4%）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第1位	満足度			不満度		無回答	『満足度』	『不満度』
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満			
学校教育の充実	2.4	9.2	60.1	16.5	4.6	7.2	71.7	21.1
青少年の健全育成	1.8	6.6	65.9	14.2	3.5	8.0	74.3	17.7
生涯学習の充実	1.8	4.7	59.6	20.6	5.8	7.5	66.1	26.4
芸術文化活動の推進	1.5	5.9	62.3	17.3	5.2	7.7	69.7	22.5
文化財の保存と継承	1.3	7.3	67.8	12.4	3.5	7.6	76.4	15.9
スポーツ・レクリエーション活動の推進	1.9	7.2	59.4	19.1	5.3	7.1	68.5	24.4
国内外での広域的な交流の推進	1.6	3.9	67.8	15.4	3.3	7.8	73.3	18.7

〔今後の重要度〕

- 今後の施策の『重要度』（重要+やや重要の合計）は、「学校教育の充実」（68.2%）が最も高く、「青少年の健全育成」（60.5%）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第1位	重要度		ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	『重要度』
	重要	やや重要					
学校教育の充実	39.5	28.7	22.3	0.4	0.3	8.9	68.2
青少年の健全育成	32.3	28.2	29.1	0.9	0.3	9.2	60.5
生涯学習の充実	23.2	29.0	35.1	2.7	0.6	9.5	52.2
芸術文化活動の推進	16.7	27.5	41.6	3.8	0.9	9.5	44.2
文化財の保存と継承	17.1	23.9	44.2	3.8	1.0	10.0	41.0
スポーツ・レクリエーション活動の推進	19.5	27.2	39.2	4.1	0.9	9.1	46.7
国内外での広域的な交流の推進	16.2	23.8	42.9	5.4	1.5	10.1	40.0

分野 4 快適な生活環境の整備（都市整備・生活環境）

〔施策の満足度〕

- 施策の取り組みに一定の評価を示す『満足度』（満足+やや満足+ふつうの合計）は、「上下水道の整備」（72.9％）が最も高く、「安全・安心な生活の確保」（71.3％）、「資源循環型社会の推進」（70.1％）が続きます【太枠】。
- 一方、施策の『不満度』（やや不満+不満の合計）は、「道路・交通ネットワークの整備」（39.6％）が最も高く、「計画的な土地利用の推進」（36.3％）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第 1 位	満足度			不満度		無回答	『満足度』	『不満度』
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満			
計画的な土地利用の推進	1.5	4.9	49.6	26.7	9.6	7.6	56.0	36.3
環境保全対策の充実	2.7	9.1	58.0	16.7	6.5	7.1	69.8	23.2
資源循環型社会の推進	1.6	4.7	63.8	17.0	5.4	7.5	70.1	22.4
上下水道の整備	5.9	10.5	56.5	13.5	7.3	6.2	72.9	20.8
うるおいのある住環境の整備	2.2	5.7	56.1	21.6	7.5	7.0	64.0	29.1
道路・交通ネットワークの整備	2.2	6.5	45.1	27.8	11.8	6.7	53.8	39.6
水辺環境の整備	1.1	5.3	56.1	22.5	7.5	7.5	62.5	30.0
安全・安心な生活の確保	2.3	7.5	61.5	17.5	4.7	6.6	71.3	22.2
地域に合った景観づくり	1.3	4.2	56.7	23.8	6.8	7.2	62.2	30.6

〔今後の重要度〕

- 今後の施策の『重要度』（重要+やや重要+ふつうの合計）は、「安全・安心な生活の確保」（65.7％）が最も高く、「道路・交通ネットワークの整備」（64.8％）が続きます【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第 1 位	重要度		ふつう	はない あまり重要で	重要ではない	無回答	『重要度』
	重要	やや重要					
計画的な土地利用の推進	29.7	34.4	24.6	1.4	0.3	9.6	64.1
環境保全対策の充実	31.6	32.9	25.9	0.6	0.0	8.9	64.5
資源循環型社会の推進	31.1	28.1	30.4	1.5	0.5	8.4	59.2
上下水道の整備	30.3	31.0	29.6	1.1	0.6	7.3	61.3
うるおいのある住環境の整備	23.7	32.5	32.5	2.4	0.4	8.5	56.2
道路・交通ネットワークの整備	36.1	28.7	25.7	1.0	0.3	8.2	64.8
水辺環境の整備	26.1	31.6	31.5	2.2	0.4	8.2	57.7
安全・安心な生活の確保	35.4	30.3	25.9	0.4	0.1	7.8	65.7
地域に合った景観づくり	28.4	31.0	31.8	0.9	0.3	7.7	59.4

分野5 市民参加の郷づくり・まちづくり（住民自治）

〔施策の満足度〕

- 施策の取り組みに一定の評価を示す『満足度』（満足＋やや満足＋ふつうの合計）は、「市民との協働によるまちづくり」（76.5%）が高くなっています【太枠】。
- 一方、施策の『不満度』（やや不満＋不満の合計）は、「市民一人ひとりを大切にするまちづくり」（19.0%）が高くなっています【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第1位	満足度			不満度		無回答	『満足度』	『不満度』
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満			
市民との協働によるまちづくり	1.6	3.4	71.5	14.3	3.4	5.7	76.5	17.7
市民一人ひとりを大切にするまちづくり	2.3	3.9	68.6	14.9	4.1	6.2	74.8	19.0

〔今後の重要度〕

- 今後の施策の『重要度』（重要＋やや重要の合計）は、「市民一人ひとりを大切にするまちづくり」（50.1%）が高くなっています【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第1位	重要度		ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	『重要度』
	重要	やや重要					
市民との協働によるまちづくり	17.7	25.9	45.4	3.0	0.5	7.3	43.6
市民一人ひとりを大切にするまちづくり	23.4	26.7	39.2	2.8	0.4	7.5	50.1

分野 6 行財政改革の推進（行財政）

〔施策の満足度〕

- 施策の取り組みに一定の評価を示す『満足度』（満足＋やや満足＋ふつうの合計）は、「時代に適した行政の推進」（71.4％）が高くなっています【太枠】。
- 一方、施策の『不満度』（やや不満＋不満の合計）は、「財政の健全化の推進」（29.7％）が高くなっています【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第 1 位	満足度			不満度		無回答	『満足度』	『不満度』
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満			
時代に適した行政の推進	2.4	9.6	59.4	18.0	5.7	4.9	71.4	23.7
財政の健全化の推進	1.8	4.8	56.8	21.9	7.8	6.8	63.4	29.7

〔今後の重要度〕

- 今後の施策の『重要度』（重要＋やや重要の合計）は、「財政の健全化の推進」（65.3％）が高くなっています【太枠】。

回答者 790 網掛：各項目の第 1 位	重要度		ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	『重要度』
	重要	やや重要					
時代に適した行政の推進	26.1	34.4	30.3	1.4	0.1	7.7	60.5
財政の健全化の推進	35.4	29.9	25.6	0.6	0.3	8.2	65.3

【全施策の満足度、不満度、重要度】

- 全施策でみる『満足度』（満足＋やや満足＋ふつうの合計）は、「市民との協働によるまちづくり」が最も高く、「文化財の保存と継承」が続きます。



- 全施策でみる『不満度』（やや不満＋不満の合計）は、「雇用の確保」が最も高く、「商業の振興」が続きます。



- 全施策でみる今後の『重要度』（重要＋やや重要の合計）は、「医療提供体制の充実」が最も高く、「雇用の確保」が続きます。

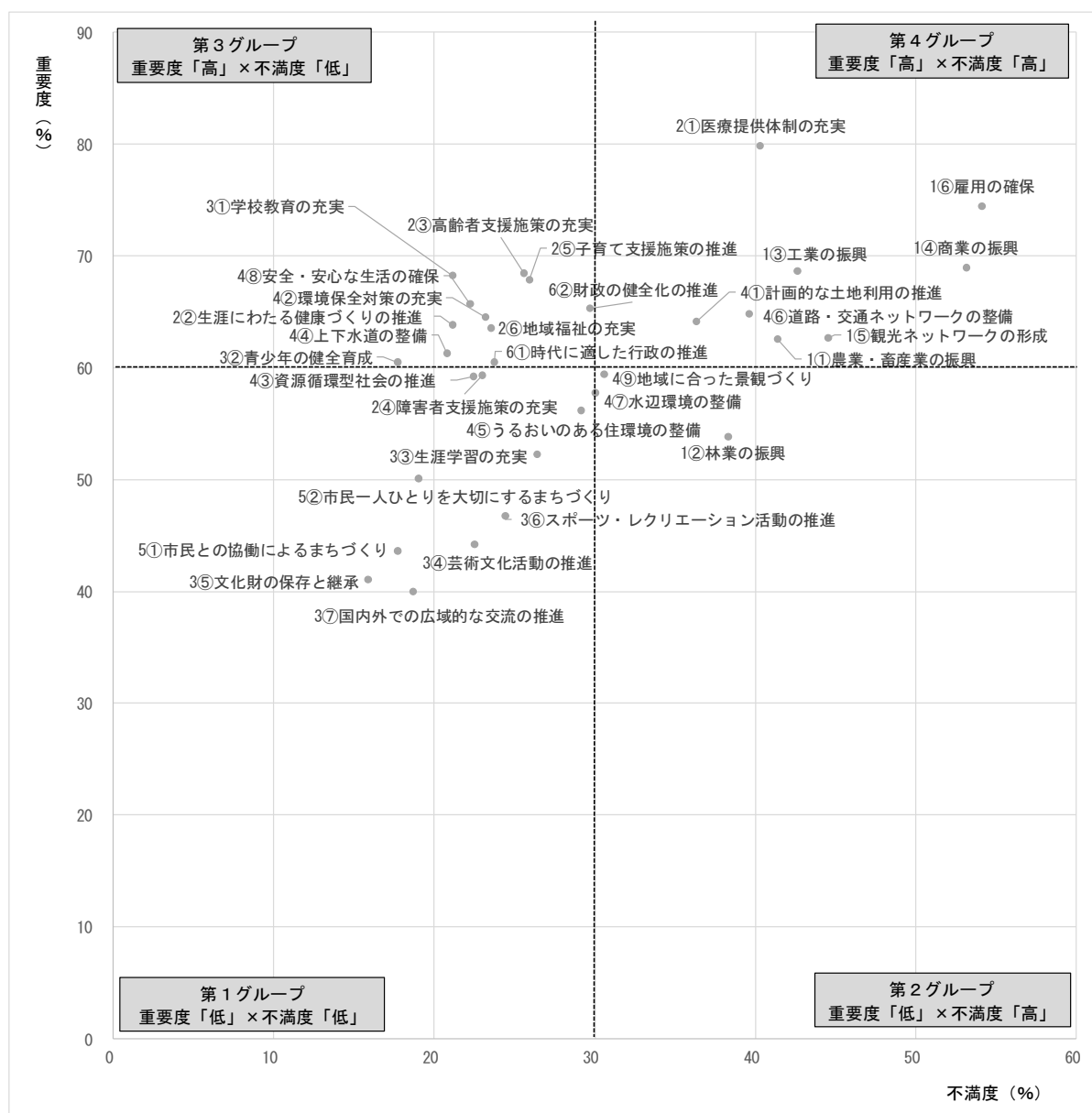


【市民意向に基づく施策の優先度（現状の不満度×今後の重要度）】

- 今後のまちづくりを検討する基礎データとして、アンケート結果の『不満度』と『重要度』を用いて施策の優先度をグループ化した結果は下表の通りです。

グループ	基準	優先度	施策数
第 4	重要度 60%以上、不満度 30%以上	優先度 1（最優先）	8
第 3	重要度 60%以上、不満度 30%未満	優先度 2	11
第 2	重要度 60%未満、不満度 30%以上	優先度 3	3
第 1	重要度 60%未満、不満度 30%未満	優先度 4	10
合計			32

〔市民アンケートに基づく施策の優先度グラフ〕



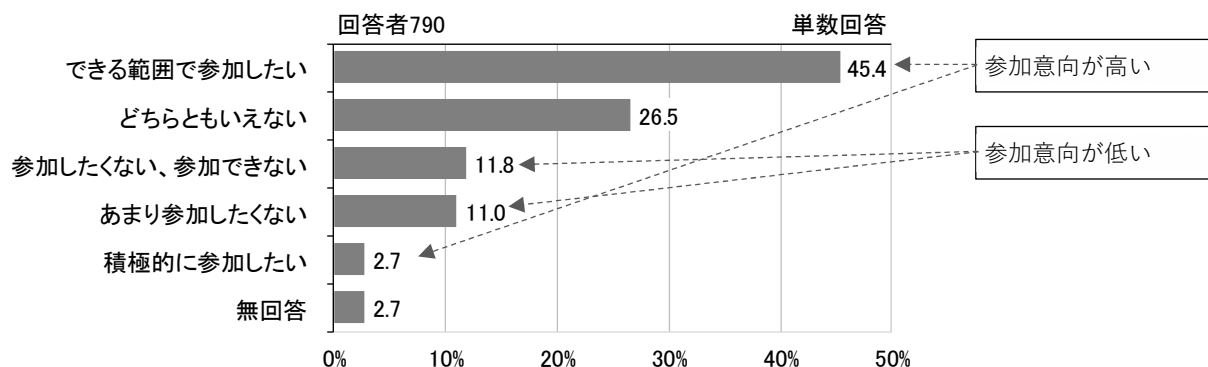
〔市民意向に基づく施策の優先度〕

	分野	施策	不満度	重要度
◆	優先度 1（最優先） 第 4 グループ			
	産業	1①農業・畜産業の振興	41.4	62.5
	産業	1③工業の振興	42.6	68.6
	産業	1④商業の振興	53.1	68.9
	産業	1⑤観光ネットワークの形成	44.5	62.6
	産業	1⑥雇用の確保	54.1	74.4
	健康・福祉	2①医療提供体制の充実	40.3	79.8
	都市整備・生活環境	4①計画的な土地利用の推進	36.3	64.1
	都市整備・生活環境	4⑥道路・交通ネットワークの整備	39.6	64.8
◆	優先度 2 第 3 グループ			
	健康・福祉	2②生涯にわたる健康づくりの推進	21.1	63.8
	健康・福祉	2③高齢者支援施策の充実	25.6	68.4
	健康・福祉	2⑤子育て支援施策の推進	25.9	67.8
	健康・福祉	2⑥地域福祉の充実	23.5	63.5
	教育・生涯学習	3①学校教育の充実	21.1	68.2
	教育・生涯学習	3②青少年の健全育成	17.7	60.5
	都市整備・生活環境	4②環境保全対策の充実	23.2	64.5
	都市整備・生活環境	4④上下水道の整備	20.8	61.3
	都市整備・生活環境	4⑧安全・安心な生活の確保	22.2	65.7
	行財政	6①時代に適した行政の推進	23.7	60.5
	行財政	6②財政の健全化の推進	29.7	65.3
◆	優先度 3 第 2 グループ			
	産業	1②林業の振興	38.3	53.8
	都市整備・生活環境	4⑦水辺環境の整備	30.0	57.7
	都市整備・生活環境	4⑨地域に合った景観づくり	30.6	59.4
◆	優先度 4 第 1 グループ			
	健康・福祉	2④障害者支援施策の充実	23.0	59.3
	教育・生涯学習	3③生涯学習の充実	26.4	52.2
	教育・生涯学習	3④芸術文化活動の推進	22.5	44.2
	教育・生涯学習	3⑤文化財の保存と継承	15.9	41.0
	教育・生涯学習	3⑥スポーツ・レクリエーション活動の推進	24.4	46.7
	教育・生涯学習	3⑦国内外での広域的な交流の推進	18.7	40.0
	都市整備・生活環境	4③資源循環型社会の推進	22.4	59.2
	都市整備・生活環境	4⑤うるおいのある住環境の整備	29.1	56.2
	住民自治	5①市民との協働によるまちづくり	17.7	43.6
	住民自治	5②市民一人ひとりを大切にするまちづくり	19.0	50.1



問 12 あなたは、地域活動やボランティアなどに参加したいと思いますか。（1つに○）

- 地域活動やボランティアなどの参加意向は、「できる範囲で参加したい」（45.4％）が最も高く、「どちらともいえない」（26.5％）、「参加したくない、参加できない」（11.8％）が続きます。
- 『参加意向が高い』（積極的に参加したい＋できる範囲で参加したいの合計）は48.1％であり、『参加意向が低い』（あまり参加したくない＋参加したくない、参加できないの合計）の22.8％を大きく上回ります。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性区分で「できる範囲で参加したい」が最も高くなっています。
- 『参加意向が高い』（積極的に参加したい＋できる範囲で参加したいの合計）が50％を超える属性区分は、男性、60代、70代以上、滝根地区、都路地区、ひとり暮らし、2世代同居、農林漁業、役員・自営等、学生、市内（勤務・通学先）です。
- 『参加意向が低い』（あまり参加したくない＋参加したくない、参加できないの合計）は、多くの属性区分で10％～20％台となっています。

回答者は人数、数値は％、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

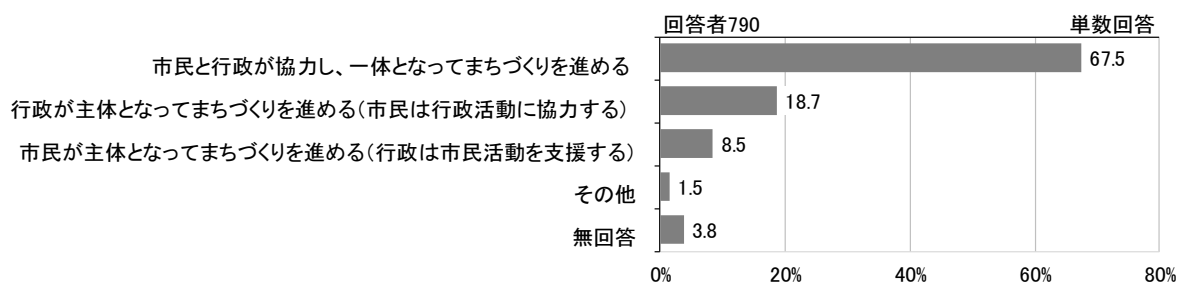
属性	区分	回答者	参加意向が高い		どちらともいえない	参加意向が低い		『参加意向が高い』	『参加意向が低い』
			積極的に参加したい	できる範囲で参加したい		あまり参加したくない	参加したくない、参加できない		
性別	男性	326	3.4	47.5	25.2	12.0	10.1	50.9	22.1
	女性	460	2.2	44.1	27.6	10.4	12.6	46.3	23.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	9.1	36.4	31.8	13.6	4.5	45.5	18.1
	20代	77	6.5	35.1	28.6	14.3	14.3	41.6	28.6
	30代	93	3.2	38.7	28.0	16.1	12.9	41.9	29.0
	40代	112	0.9	43.8	26.8	18.8	8.0	44.7	26.8
	50代	120	1.7	47.5	28.3	10.0	10.0	49.2	20.0
	60代	206	1.5	50.5	27.7	8.3	9.7	52.0	18.0
	70代以上	157	3.2	49.7	21.0	4.5	17.2	52.9	21.7

属性	区分	回答者	参加意向が高い		どちらともいえない	参加意向が低い		『参加意向が高い』	『参加意向が低い』
			積極的に参加したい	できる範囲で参加したい		あまり参加したくない	参加したくない、参加できない		
地区	船引地区	436	2.5	45.6	25.5	11.5	11.9	48.1	23.4
	滝根地区	107	2.8	51.4	23.4	11.2	10.3	54.2	21.5
	大越地区	86	2.3	34.9	34.9	11.6	15.1	37.2	26.7
	都路地区	50	4.0	50.0	24.0	10.0	10.0	54.0	20.0
	常葉地区	108	2.8	45.4	28.7	9.3	10.2	48.2	19.5
世帯	ひとり暮らし	58	1.7	48.3	27.6	6.9	12.1	50.0	19.0
	夫婦のみ	187	2.1	47.1	23.0	13.4	11.8	49.2	25.2
	2世代同居	337	3.6	47.8	26.7	8.0	11.9	51.4	19.9
	3世代同居	123	0.8	41.5	33.3	13.0	8.9	42.3	21.9
	上記以外	79	3.8	38.0	24.1	16.5	15.2	41.8	31.7
職業	会社員等	271	3.3	45.8	26.2	13.3	10.3	49.1	23.6
	契約・派遣等	137	0.0	46.7	29.2	10.9	9.5	46.7	20.4
	農林漁業	40	2.5	52.5	30.0	10.0	5.0	55.0	15.0
	役員・自営等	60	5.0	60.0	18.3	11.7	5.0	65.0	16.7
	家事専業	80	0.0	33.8	35.0	11.3	16.3	33.8	27.6
	学生	25	12.0	44.0	20.0	16.0	4.0	56.0	20.0
	無職	142	3.5	43.7	23.2	7.7	18.3	47.2	26.0
	上記以外	26	0.0	42.3	26.9	3.8	23.1	42.3	26.9
勤務・通学先	市内	351	2.6	51.0	25.6	10.5	7.7	53.6	18.2
	市外	203	3.4	40.4	27.6	15.3	11.3	43.8	26.6
	非就労・非通学	185	1.6	42.2	26.5	9.2	18.4	43.8	27.6

問 13 あなたは、これからのまちづくりの進め方についてどのように考えますか。

(1つに○)

- これからのまちづくりの進め方の考え方は、「市民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」(67.5%)が最も高く、「行政が主体となってまちづくりを進める(市民は行政活動に協力する)」(18.7%)、「市民が主体となってまちづくりを進める(行政は市民活動を支援する)」(8.5%)が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 全ての属性区分で「市民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

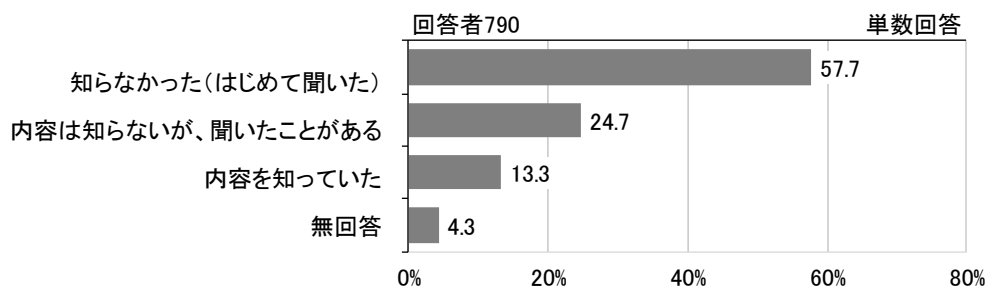
属性	区分	回答者	市民が主体となってまちづくりを進める (行政は市民活動を支援する)	市民と行政が協力し、一体となつてまちづくりを進める	行政が主体となってまちづくりを進める (市民は行政活動に協力する)	その他
性別	男性	326	10.4	63.5	20.9	2.5
	女性	460	7.2	70.7	17.2	0.7
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	18.2	77.3	0.0	4.5
	20代	77	5.2	64.9	27.3	0.0
	30代	93	12.9	64.5	19.4	2.2
	40代	112	14.3	67.9	15.2	0.9
	50代	120	8.3	62.5	23.3	1.7
	60代	206	5.3	70.9	19.4	1.9
	70代以上	157	6.4	69.4	15.3	0.6
地区	船引地区	436	8.0	67.0	19.7	0.7
	滝根地区	107	11.2	66.4	17.8	3.7
	大越地区	86	7.0	64.0	25.6	1.2
	都路地区	50	12.0	72.0	16.0	0.0
	常葉地区	108	7.4	72.2	12.0	2.8
世帯	ひとり暮らし	58	8.6	67.2	17.2	1.7
	夫婦のみ	187	5.3	70.1	19.3	1.1
	2世代同居	337	9.5	69.1	17.5	1.5

属性	区分	回答者	市民が主体となってまちづくりを進める (行政は市民活動を支援する)	市民と行政が協力し、一体となってまちづくりを進める	行政が主体となってまちづくりを進める (市民は行政活動に協力する)	その他
	3世代同居	123	8.9	69.9	17.9	0.0
	上記以外	79	11.4	55.7	26.6	3.8
職業	会社員等	271	10.0	66.1	20.3	2.2
	契約・派遣等	137	2.9	70.8	20.4	1.5
	農林漁業	40	7.5	75.0	15.0	2.5
	役員・自営等	60	13.3	61.7	25.0	0.0
	家事専業	80	8.8	75.0	13.8	0.0
	学生	25	12.0	76.0	12.0	0.0
	無職	142	7.7	64.8	18.3	0.7
	上記以外	26	11.5	69.2	11.5	3.8
勤務・通学先	市内	351	6.6	68.7	20.5	1.1
	市外	203	11.8	66.0	18.2	2.0
	非就労・非通学	185	8.1	68.6	17.8	1.6

4 田村市の将来像や今後の取り組みについてお聴きします。

問 14 あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）を知っていましたか。（1つに○）

- SDGs（持続可能な開発目標）の認知度は、「知らなかった（はじめて聞いた）」（57.7%）が最も高く、「内容は知らないが、聞いたことがある」（24.7%）、「内容を知っていた」（13.3%）が続きます。



※説明 《SDGs（エス・ディー・ジーズ 持続可能な開発目標）について》

SDGs（持続可能な開発目標）は、2030 年に向けて世界の国々が取り組むべき目標です。国連で採択（2015 年）されたもので、17 の目標（ゴール）と 169 のターゲットが定められました。国、国民、民間企業が主体的に取り組むものであり、日本も田村市も、世界の一員として SDGs に取り組んでいます。

【回答者属性別の傾向】

- 全ての属性区分で「知らなかった（はじめて聞いた）」が最も高くなっています。

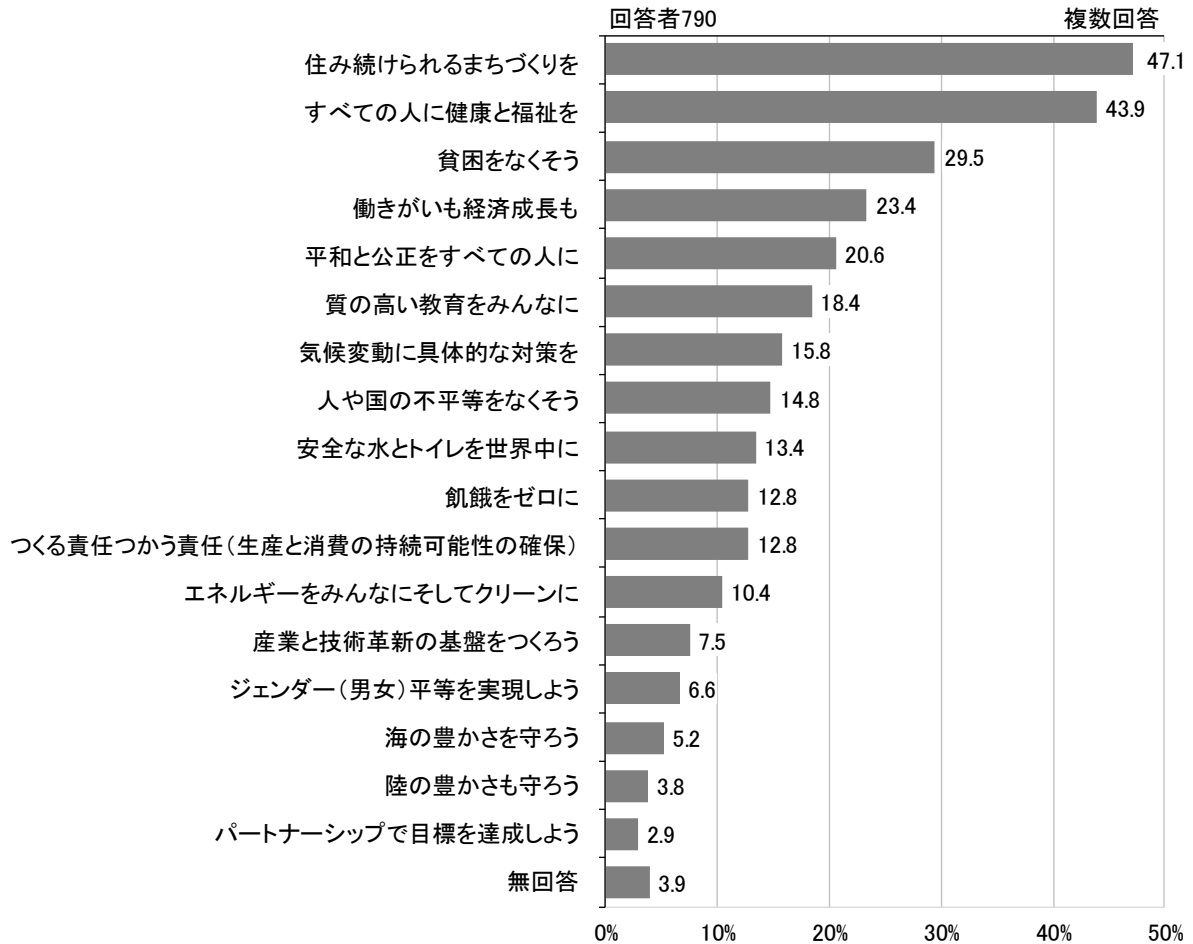
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第 1 位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	内容を知っていた	内容は知らないが、聞いたことがある	知らなかった（はじめて聞いた）
性別	男性	326	16.6	25.8	54.0
	女性	460	11.1	24.1	60.4
	その他	1	0.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	36.4	18.2	40.9
	20代	77	22.1	20.8	57.1
	30代	93	18.3	17.2	62.4
	40代	112	19.6	17.0	59.8
	50代	120	16.7	25.8	54.2
	60代	206	6.8	30.1	58.7
	70代以上	157	4.5	29.9	58.0
地区	船引地区	436	13.8	22.2	58.9
	滝根地区	107	12.1	34.6	52.3
	大越地区	86	10.5	30.2	59.3
	都路地区	50	12.0	20.0	62.0
	常葉地区	108	14.8	23.1	56.5

属性	区分	回答者	内容を知っていた	内容は知らないが、聞いたことがある	知らなかった (はじめて聞いた)
世帯	ひとり暮らし	58	10.3	39.7	41.4
	夫婦のみ	187	9.1	28.9	57.8
	2世代同居	337	16.3	23.1	57.9
	3世代同居	123	11.4	18.7	65.0
	上記以外	79	16.5	20.3	60.8
職業	会社員等	271	20.7	22.1	56.1
	契約・派遣等	137	5.8	24.1	65.0
	農林漁業	40	7.5	30.0	55.0
	役員・自営等	60	18.3	21.7	58.3
	家事専業	80	3.8	20.0	72.5
	学生	25	36.0	20.0	40.0
	無職	142	9.9	30.3	54.2
	上記以外	26	3.8	38.5	46.2
勤務・通学先	市内	351	15.1	23.9	56.7
	市外	203	16.3	23.2	58.1
	非就労・非通学	185	9.7	27.0	60.5

問 15 あなたは現在、SDGs の 17 の目標のうち、どの目標が特に大切に感じますか。
(あてはまるもの 3 つまで○)

- 特に大切に感じる SDGs (持続可能な開発目標) の目標は、「住み続けられるまちづくりを」(47.1%) が最も高く、「すべての人に健康と福祉を」(43.9%) が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性区分で「住み続けられるまちづくりを」と「すべての人に健康と福祉を」が最も高くなっています。
- 上記以外では、学生は「質の高い教育をみんなに」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー（男女）平等を 実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそして クリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう
性別	男性	326	33.7	11.0	39.6	18.4	5.5	12.3	14.4	21.8	11.7
	女性	460	26.7	14.1	47.2	18.5	7.4	14.3	7.6	24.8	4.6
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	18.2	13.6	40.9	18.2	4.5	27.3	18.2	27.3	0.0
	20代	77	29.9	14.3	35.1	26.0	10.4	11.7	6.5	31.2	9.1
	30代	93	32.3	11.8	37.6	24.7	12.9	12.9	7.5	24.7	11.8
	40代	112	33.0	8.9	38.4	25.0	8.0	9.8	7.1	33.9	11.6
	50代	120	35.0	15.8	39.2	20.0	3.3	15.0	12.5	19.2	5.0
	60代	206	28.2	13.1	47.6	11.2	5.8	15.0	11.7	17.0	6.3
	70代以上	157	24.8	12.7	56.1	14.6	3.8	12.1	12.1	22.9	5.7
地区	船引地区	436	29.4	11.0	43.1	18.3	7.6	14.4	10.1	22.7	7.3
	滝根地区	107	29.0	15.0	44.9	18.7	4.7	12.1	15.9	27.1	4.7
	大越地区	86	27.9	15.1	50.0	22.1	7.0	12.8	7.0	23.3	11.6
	都路地区	50	28.0	18.0	44.0	6.0	0.0	16.0	10.0	14.0	2.0
	常葉地区	108	33.3	13.9	42.6	21.3	7.4	10.2	9.3	27.8	10.2
世帯	ひとり暮らし	58	39.7	15.5	53.4	19.0	5.2	20.7	12.1	15.5	5.2
	夫婦のみ	187	27.8	15.5	46.0	15.5	6.4	15.0	12.3	20.3	7.5
	2世代同居	337	31.5	10.7	43.6	18.4	4.7	11.3	10.4	24.9	7.7
	3世代同居	123	25.2	13.8	35.8	20.3	9.8	11.4	9.8	26.0	8.1
	上記以外	79	26.6	12.7	48.1	22.8	11.4	17.7	6.3	27.8	7.6
職業	会社員等	271	31.4	11.4	40.2	20.7	8.9	12.9	10.3	26.2	10.3
	契約・派遣等	137	25.5	8.8	45.3	16.8	6.6	14.6	5.1	27.7	5.8
	農林漁業	40	22.5	10.0	42.5	12.5	2.5	12.5	7.5	10.0	5.0
	役員・自営等	60	33.3	18.3	46.7	18.3	5.0	10.0	16.7	33.3	11.7
	家事専業	80	32.5	17.5	53.8	16.3	6.3	11.3	12.5	10.0	3.8
	学生	25	24.0	16.0	32.0	36.0	8.0	20.0	12.0	28.0	4.0
	無職	142	29.6	14.8	47.9	17.6	5.6	16.2	12.7	22.5	5.6
	上記以外	26	30.8	11.5	34.6	11.5	0.0	11.5	11.5	19.2	3.8
勤務・通学先	市内	351	26.8	13.4	44.2	17.1	6.6	12.5	11.7	25.6	6.6
	市外	203	34.0	8.9	38.9	23.2	8.4	12.8	6.9	27.6	11.8
	非就労・非通学	185	31.9	17.3	46.5	18.9	5.4	15.7	11.9	16.8	4.9

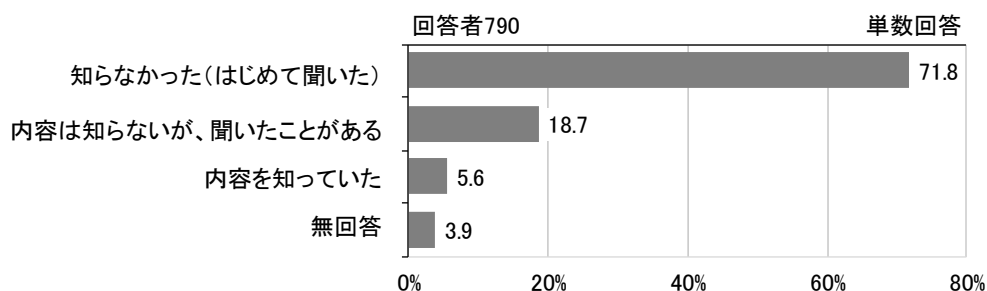
（次表に続く）

属性	区分	回答者	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任（生産と消費の持続可能性の確保）	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
性別	男性	326	12.0	48.5	14.7	15.6	5.2	4.9	16.9	4.3
	女性	460	17.0	46.3	11.5	15.9	5.0	3.0	23.5	2.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	22.7	36.4	4.5	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5
	20代	77	22.1	39.0	9.1	11.7	2.6	6.5	18.2	5.2
	30代	93	17.2	37.6	8.6	22.6	2.2	4.3	17.2	1.1
	40代	112	15.2	48.2	14.3	14.3	8.9	3.6	22.3	2.7
	50代	120	10.8	44.2	13.3	18.3	4.2	2.5	23.3	1.7
	60代	206	13.6	52.9	13.6	18.4	5.3	3.9	21.4	3.9
	70代以上	157	13.4	52.9	15.9	11.5	6.4	3.2	20.4	2.5
地区	船引地区	436	13.8	45.4	14.2	15.8	3.7	3.2	20.2	2.8
	滝根地区	107	14.0	48.6	10.3	16.8	7.5	2.8	21.5	1.9
	大越地区	86	17.4	54.7	10.5	16.3	7.0	7.0	23.3	4.7
	都路地区	50	22.0	52.0	10.0	16.0	10.0	6.0	24.0	2.0
	常葉地区	108	13.9	44.4	13.0	14.8	5.6	3.7	17.6	3.7
世帯	ひとり暮らし	58	15.5	50.0	10.3	13.8	6.9	3.4	22.4	8.6
	夫婦のみ	187	13.9	44.4	18.2	17.6	8.0	3.7	22.5	2.1
	2世代同居	337	13.1	49.6	10.7	14.8	4.5	3.9	19.6	2.1
	3世代同居	123	19.5	43.9	12.2	14.6	2.4	0.8	17.1	3.3
	上記以外	79	17.7	49.4	12.7	20.3	5.1	8.9	26.6	2.5
職業	会社員等	271	11.4	42.8	11.8	15.1	5.5	4.4	20.3	2.6
	契約・派遣等	137	21.2	55.5	12.4	16.8	8.0	2.9	19.0	3.6
	農林漁業	40	17.5	47.5	17.5	17.5	2.5	5.0	25.0	0.0
	役員・自営等	60	13.3	46.7	6.7	21.7	3.3	0.0	16.7	5.0
	家事専業	80	20.0	46.3	10.0	13.8	5.0	2.5	26.3	2.5
	学生	25	24.0	36.0	12.0	8.0	0.0	0.0	16.0	4.0
	無職	142	13.4	50.0	19.7	14.8	5.6	5.6	20.4	2.8
	上記以外	26	3.8	53.8	7.7	23.1	0.0	3.8	23.1	3.8
勤務・通学先	市内	351	13.7	47.3	11.1	17.4	6.6	3.7	20.5	2.6
	市外	203	16.7	45.3	11.8	14.3	3.4	3.9	19.2	4.4
	非就労・非通学	185	15.7	48.1	17.8	16.8	5.9	3.2	23.2	2.7



問 16 あなたは、Society5.0 を知っていましたか。（1つに○）

- Society5.0 の認知度は、「知らなかった（はじめて聞いた）」（71.8%）が最も高く、「内容は知らないが、聞いたことがある」（18.7%）、「内容を知っていた」（5.6%）が続きます。



※説明《Society5.0（ソサエティ ゴーテンゼロ）について》

Society5.0 とは、インターネット、AI（エーアイ 人工知能）、ロボット等の先端技術の社会実装によって経済発展と社会的課題の解決を両立し、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる「人間中心の社会」のことです。

日本が平成 28 年に提唱し、世界に先駆けて「Society 5.0」の実現を目指しています。

【回答者属性別の傾向】

- 全ての属性区分で「知らなかった（はじめて聞いた）」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

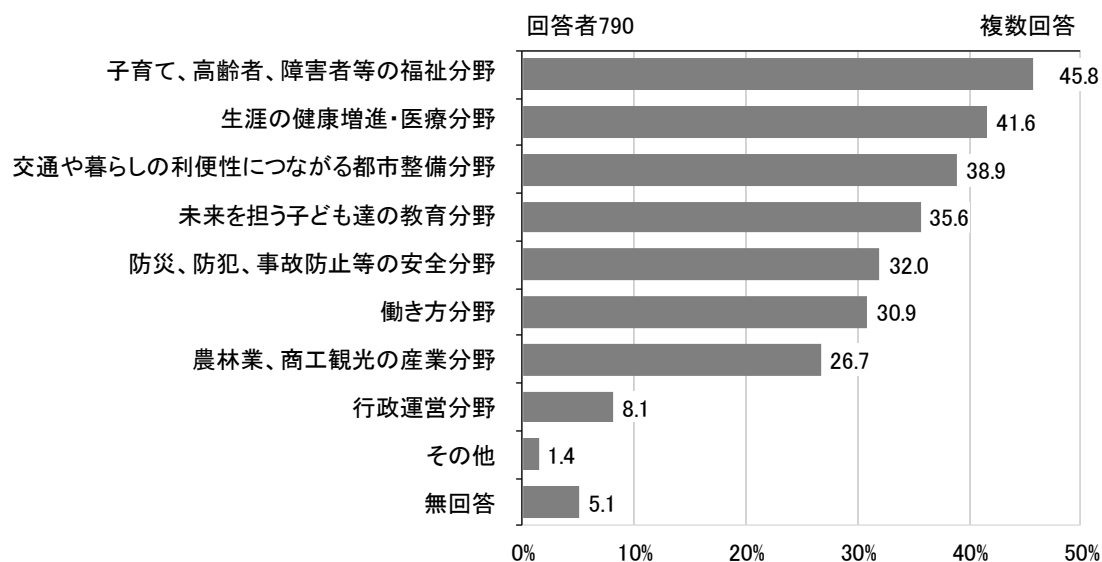
属性	区分	回答者	内容を知っていた	内容は知らないが、聞いたことがある	知らなかった（はじめて聞いた）
性別	男性	326	4.6	19.9	71.5
	女性	460	6.3	18.0	72.4
	その他	1	0.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	9.1	4.5	81.8
	20代	77	11.7	22.1	64.9
	30代	93	3.2	15.1	81.7
	40代	112	4.5	10.7	81.3
	50代	120	5.8	20.0	70.0
	60代	206	5.8	19.9	71.4
	70代以上	157	3.8	24.8	64.3
地区	船引地区	436	5.5	14.9	76.1
	滝根地区	107	9.3	22.4	64.5
	大越地区	86	5.8	24.4	67.4
	都路地区	50	4.0	28.0	64.0
	常葉地区	108	2.8	21.3	70.4
世帯	ひとり暮らし	58	10.3	34.5	48.3
	夫婦のみ	187	5.9	21.4	69.0
	2世代同居	337	4.5	16.6	76.3
	3世代同居	123	4.1	10.6	82.9

属性	区分	回答者	内容を知っていた	内容は知らないが、聞いたことがある	知らなかった (はじめて聞いた)
	上記以外	79	8.9	24.1	62.0
職業	会社員等	271	7.0	17.3	73.1
	契約・派遣等	137	4.4	16.8	76.6
	農林漁業	40	5.0	30.0	62.5
	役員・自営等	60	6.7	10.0	83.3
	家事専業	80	2.5	15.0	78.8
	学生	25	8.0	0.0	88.0
	無職	142	5.6	28.2	61.3
	上記以外	26	3.8	23.1	57.7
	市内	351	5.7	17.9	73.5
	市外	203	5.4	15.8	75.4
勤務・通学先	非就労・非通学	185	4.9	24.3	67.0

問 17 田村市で Society5.0 がどのような分野で進むことを期待しますか。

(あてはまるもの 3 つまで○)

- 田村市で進むことを期待する Society5.0 の分野は、「子育て、高齢者、障害者等の福祉分野」(45.8%) が最も高く、「生涯の健康増進・医療分野」(41.6%)、「交通や暮らしの利便性につながる都市整備分野」(38.9%) が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性区分で「子育て、高齢者、障害者等の福祉分野」もしくは「生涯の健康増進・医療分野」が最も高くなっています。
- 上記以外では、10代は「防災、防犯、事故防止等の安全分野」、20代は「働き方分野」、都路地区、常葉地区、契約・派遣等は「交通や暮らしの利便性につながる都市整備分野」、農林漁業、役員・自営等は「農林業、商工観光の産業分野」、学生は「未来を担う子ども達の教育分野」がそれぞれ最も高くなっています。

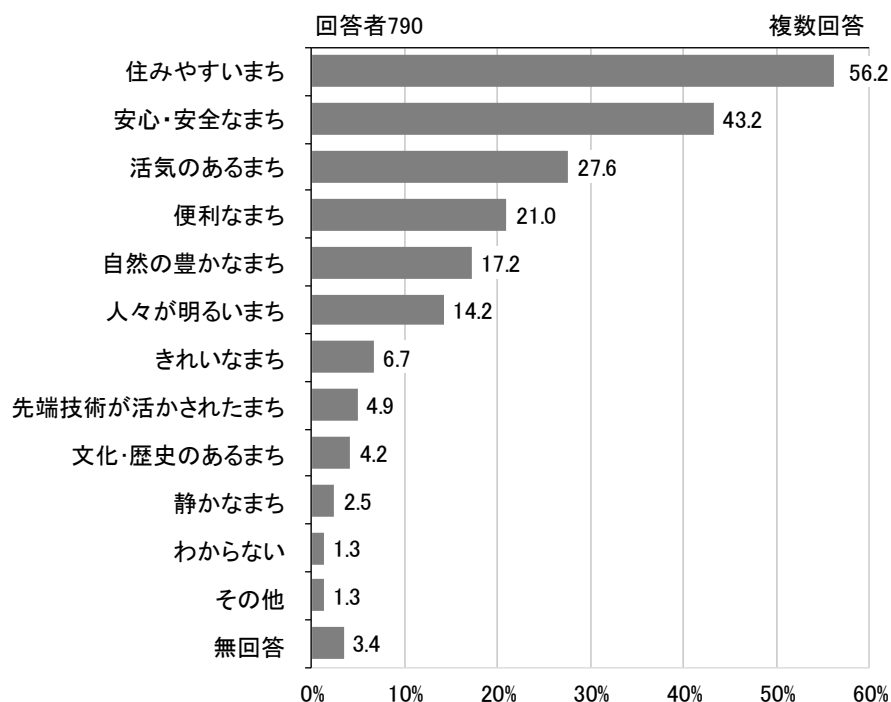
回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	農林業、商工観光の産業分野	働き方分野	生涯の健康増進・医療分野	子育て、高齢者、障害者等の福祉分野	未来を担う子ども達教育分野	交通や暮らしの利便性につながる都市整備分野	防災、防犯、事故防止等の安全分野	行政運営分野	その他
性別	男性	326	30.7	30.1	37.1	38.0	37.1	36.8	33.4	11.0	0.9
	女性	460	23.9	31.5	45.0	51.7	34.6	40.4	31.3	5.9	1.5
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	18.2	13.6	40.9	27.3	50.0	22.7	59.1	0.0	0.0
	20代	77	24.7	49.4	31.2	37.7	31.2	40.3	31.2	9.1	0.0
	30代	93	16.1	44.1	30.1	55.9	51.6	48.4	28.0	8.6	0.0
	40代	112	26.8	36.6	36.6	45.5	33.9	44.6	37.5	8.0	0.0
	50代	120	25.0	35.0	41.7	45.0	32.5	32.5	35.8	8.3	0.8
	60代	206	32.0	22.3	46.1	48.5	34.5	37.4	32.5	7.8	1.0
	70代以上	157	29.3	20.4	52.2	44.6	31.8	38.2	24.2	8.3	4.5
地区	船引地区	436	24.1	32.1	42.2	46.6	35.1	36.7	34.9	9.2	0.7
	滝根地区	107	24.3	29.0	43.0	53.3	32.7	43.0	26.2	6.5	1.9
	大越地区	86	37.2	22.1	45.3	41.9	37.2	31.4	24.4	8.1	3.5
	都路地区	50	28.0	34.0	46.0	42.0	34.0	46.0	26.0	8.0	2.0
	常葉地区	108	30.6	33.3	34.3	41.7	39.8	46.3	35.2	4.6	0.9
世帯	ひとり暮らし	58	17.2	22.4	53.4	51.7	25.9	51.7	27.6	12.1	3.4
	夫婦のみ	187	28.9	25.7	50.8	48.7	34.8	37.4	29.4	5.3	2.1
	2世代同居	337	28.8	33.8	36.8	41.8	36.2	36.2	34.7	8.9	1.2
	3世代同居	123	25.2	31.7	39.8	49.6	40.7	41.5	32.5	8.1	0.0
	上記以外	79	22.8	36.7	38.0	49.4	36.7	43.0	31.6	7.6	0.0
職業	会社員等	271	24.7	34.7	41.3	46.9	37.3	39.9	31.0	8.1	0.7
	契約・派遣等	137	16.8	42.3	43.1	43.8	34.3	45.3	30.7	8.0	0.7
	農林漁業	40	45.0	15.0	45.0	45.0	32.5	37.5	27.5	7.5	2.5
	役員・自営等	60	43.3	40.0	26.7	38.3	33.3	40.0	38.3	6.7	3.3
	家事専業	80	27.5	17.5	51.3	61.3	33.8	30.0	37.5	7.5	2.5
	学生	25	28.0	24.0	32.0	36.0	48.0	44.0	40.0	4.0	0.0
	無職	142	30.3	21.1	45.1	41.5	37.3	37.3	28.9	10.6	1.4
	上記以外	26	15.4	34.6	34.6	61.5	30.8	26.9	42.3	3.8	0.0
勤務・通学先	市内	351	28.8	34.8	40.2	46.4	36.8	39.9	31.3	8.5	1.1
	市外	203	18.7	35.5	41.4	44.3	36.5	41.4	32.5	5.9	0.0
	非就労・非通学	185	31.9	20.5	47.0	47.0	34.6	37.8	35.7	8.6	3.2

問 18 あなたは、これからの田村市にどのようなまちづくりを期待しますか。

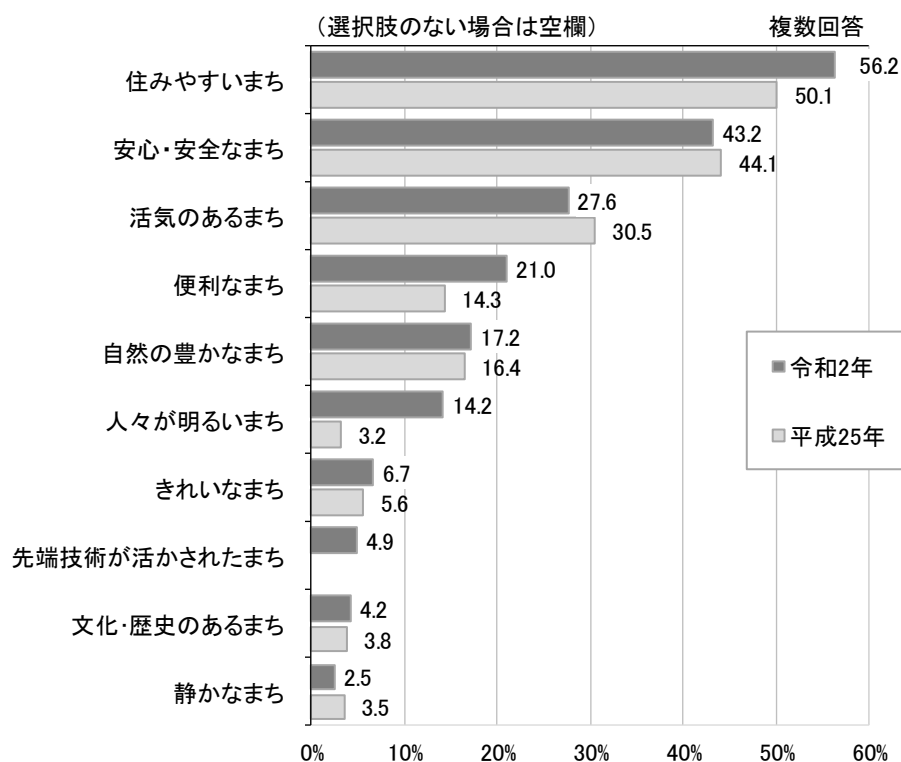
(主なものを2つまで○)

- これからのまちづくりへの期待は、「住みやすいまち」(56.2%)が最も高く、「安心・安全なまち」(43.2%)が続きます。



平成 25 年調査との比較

- 今回と平成 25 年調査*ともに「住みやすいまち」と「安心・安全なまち」が上位に挙がっています。（*設問は「これからの田村市に期待するイメージはどのようなまちですか」）



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性区分で「住みやすいまち」が最も高くなっています。
- 上記以外では、10代と学生は「安心・安全なまち」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答の「その他」「わからない」及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	自然の豊かなまち	文化・歴史のあるまち	安心・安全なまち	きれいなまち	静かなまち	人々が明るいまち	活気のあるまち	住みやすいまち	便利なまち	先端技術が活かされたまち
性別	男性	326	15.6	4.9	41.1	6.7	4.3	12.6	30.4	51.2	20.6	5.5
	女性	460	18.5	3.5	45.0	6.7	1.3	15.4	25.9	59.8	21.3	4.6
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	10代	22	4.5	0.0	59.1	9.1	0.0	18.2	13.6	50.0	27.3	4.5
	20代	77	22.1	9.1	27.3	15.6	2.6	6.5	27.3	53.2	20.8	11.7
	30代	93	16.1	3.2	38.7	7.5	2.2	17.2	38.7	51.6	31.2	4.3
	40代	112	9.8	3.6	47.3	7.1	2.7	9.8	25.9	63.4	25.0	6.3
	50代	120	14.2	0.0	43.3	3.3	3.3	15.8	20.8	56.7	26.7	5.8
	60代	206	17.5	3.9	44.2	6.8	2.4	13.1	29.1	56.8	17.0	3.4
	70代以上	157	24.2	7.0	47.8	3.8	1.9	19.1	28.0	55.4	12.7	2.5
地区	船引地区	436	15.6	5.0	43.6	7.6	3.0	14.9	26.1	53.4	22.9	5.3
	滝根地区	107	16.8	3.7	47.7	2.8	3.7	15.0	25.2	60.7	21.5	1.9
	大越地区	86	18.6	4.7	45.3	5.8	2.3	9.3	33.7	67.4	16.3	4.7
	都路地区	50	32.0	0.0	40.0	8.0	0.0	6.0	30.0	60.0	12.0	10.0
	常葉地区	108	16.7	2.8	38.0	7.4	0.9	18.5	29.6	51.9	21.3	4.6
世帯	ひとり暮らし	58	31.0	3.4	43.1	10.3	8.6	19.0	20.7	53.4	19.0	3.4
	夫婦のみ	187	21.4	4.8	46.5	7.0	1.1	15.0	26.2	55.1	18.2	3.7
	2世代同居	337	16.0	3.6	40.7	4.7	2.1	13.1	29.7	55.8	22.3	4.7
	3世代同居	123	8.9	4.1	43.9	8.1	1.6	13.8	26.0	61.8	26.0	6.5
	上記以外	79	13.9	6.3	46.8	10.1	3.8	15.2	31.6	57.0	17.7	7.6
職業	会社員等	271	15.1	4.1	42.4	8.5	3.3	14.0	25.8	54.2	22.9	6.6
	契約・派遣等	137	16.1	1.5	41.6	6.6	2.2	14.6	29.9	65.7	21.9	3.6
	農林漁業	40	17.5	5.0	47.5	0.0	2.5	12.5	27.5	52.5	27.5	2.5
	役員・自営等	60	16.7	8.3	38.3	5.0	0.0	15.0	31.7	53.3	20.0	3.3
	家事専業	80	23.8	6.3	40.0	7.5	2.5	13.8	17.5	56.3	22.5	2.5
	学生	25	12.0	0.0	52.0	8.0	0.0	8.0	24.0	52.0	16.0	12.0
	無職	142	19.0	4.9	50.7	6.3	3.5	16.9	34.5	54.2	15.5	4.9
	上記以外	26	23.1	3.8	30.8	3.8	0.0	11.5	26.9	61.5	19.2	3.8
勤務・通学先	市内	351	16.5	3.1	42.2	6.8	2.3	15.4	27.9	57.5	22.5	5.7
	市外	203	15.3	4.4	43.3	7.9	3.0	11.8	24.6	55.2	22.2	5.4
	非就労・非通学	185	15.1	6.5	48.6	4.9	2.7	15.1	31.9	57.3	19.5	3.8

問 19 田村市には自然、歴史、文化、景観、産業、場所等、数多くの魅力があります。あなたが特に魅力だと感じるものは何ですか。下の 2 つの枠内に具体的に記入してください。

《田村市の魅力》（主な意見）

- 自然環境（豊か、美しい、多い）
- 景観（片曾根山（田村富士）、移ヶ岳等の山々、高柴山のつつじ、四季折々、紅葉、桜、星空、緑 等）
- 観光名所（あぶくま洞（鍾乳洞）、ムシムシランド、星の村天文台 等）
- 交通の便の良さ（高速道路、鉄道、郡山に近い 等）
- 災害が少ない
- 産業（働く場所がある、農産業 等）
- 歴史、伝統文化（お人形様、灯籠流し 等）
- 人（人のつながり、地元愛が強い、温かさ、優しさ、良さ、明るい）

問 20 田村市のまちづくりを進めるにあたって、どのようなことを大切にしたいですか。下の 2 つの枠内に具体的にキーワードとして記入してください。

《まちづくりで大切にすること（キーワード）》（主な意見）

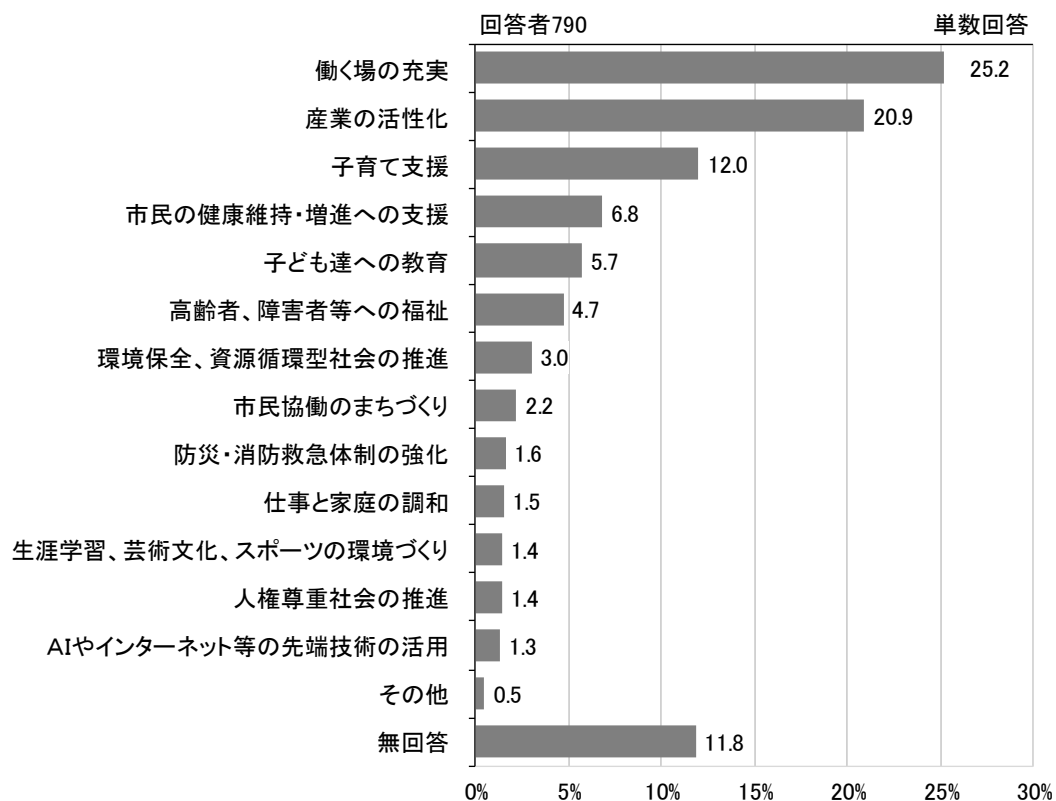
- 豊かな自然を守る、自然との調和
- 安心安全なまちづくり（暮らし）、災害に強い町
- 住みやすいまち（若い人が住みたい町、高齢者や障害者にやさしい町、人に優しいまち 等）
- 医療機関の充実
- 子育て支援
- 子ども達の健やかな成長、子ども達への教育
- 歴史・文化を大切に
- 交通の利便性、道路整備
- 企業誘致、観光、農林業振興、雇用や働く場の充実
- 駅前活性化
- 地域の活性化、地域に適した開発と発展
- 市民協働のまちづくり、市民の意見反映



問 21 田村市の発展にとってどのような取り組みが特に重要と考えますか。下表から3つまで選んで、その番号を枠内に記入してください。

〔田村市の発展に特に重要な取り組み 第1位〕

- 田村市の発展に特に重要な取り組みの第1位は、「働く場の充実」（25.2%）が最も高く、「産業の活性化」（20.9%）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

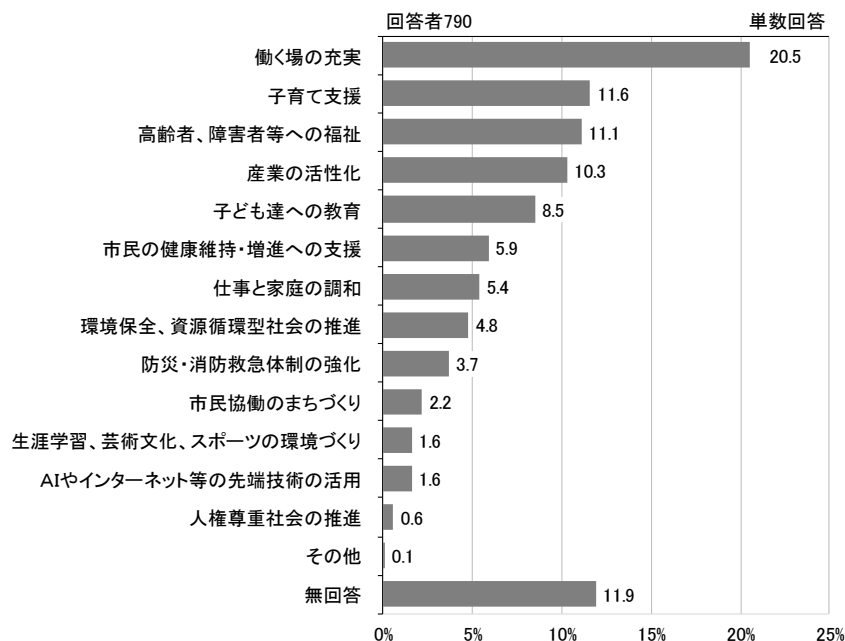
- 多くの属性区分で「働く場の充実」もしくは「産業の活性化」が最も高くなっています。
- 上記以外では、30代は「子育て支援」が最も高くなっています。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、回答の「その他」「無回答」及び属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	産業の活性化	働く場の充実	市民の健康維持・増進への支援	高齢者、障害者等への福祉	子育て支援	仕事と家庭の調和	子ども達への教育	生涯学習、芸術文化、スポーツの環境づくり	環境保全、資源循環型社会の推進	Aーやインターネット等の先端技術の活用	防災・消防救急体制の強化	市民協働のまちづくり	人権尊重社会の推進
性別	男性	326	22.7	27.0	5.5	4.3	9.2	0.6	4.9	1.5	2.5	1.8	1.5	1.8	2.1
	女性	460	19.8	23.9	7.8	5.0	13.9	2.2	6.3	1.3	3.5	0.9	1.7	2.4	0.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10代	22	9.1	22.7	9.1	13.6	13.6	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	9.1	0.0
	20代	77	15.6	24.7	1.3	2.6	18.2	5.2	3.9	3.9	5.2	3.9	2.6	1.3	0.0
	30代	93	12.9	23.7	4.3	3.2	25.8	1.1	12.9	1.1	2.2	1.1	3.2	0.0	1.1
	40代	112	25.9	21.4	5.4	4.5	11.6	3.6	7.1	2.7	1.8	0.9	0.9	2.7	1.8
	50代	120	23.3	27.5	7.5	3.3	7.5	0.8	6.7	0.8	4.2	1.7	2.5	4.2	1.7
	60代	206	21.8	30.1	5.8	4.4	11.2	0.5	4.4	0.5	2.9	0.5	1.0	0.5	1.9
	70代以上	157	23.6	21.7	12.7	7.0	5.7	0.6	2.5	1.3	3.2	0.6	0.6	3.2	1.3
地区	船引地区	436	22.7	23.6	6.2	4.6	13.1	1.1	6.0	1.4	2.1	2.3	2.5	1.8	0.9
	滝根地区	107	18.7	29.0	8.4	5.6	10.3	1.9	4.7	0.9	4.7	0.0	0.0	2.8	2.8
	大越地区	86	20.9	30.2	4.7	4.7	10.5	2.3	4.7	3.5	3.5	0.0	1.2	1.2	0.0
	都路地区	50	12.0	38.0	14.0	2.0	6.0	4.0	2.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	常葉地区	108	20.4	18.5	6.5	5.6	13.9	0.9	8.3	0.9	3.7	0.0	0.9	4.6	1.9
世帯	ひとり暮らし	58	24.1	19.0	5.2	5.2	8.6	3.4	5.2	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0
	夫婦のみ	187	23.0	21.9	8.6	6.4	10.2	0.0	6.4	1.6	4.8	0.0	1.1	2.7	1.6
	2世代同居	337	18.1	29.7	6.5	4.7	13.1	2.1	5.3	2.1	3.0	0.9	1.2	1.5	2.1
	3世代同居	123	25.2	20.3	6.5	4.1	14.6	1.6	6.5	0.0	1.6	2.4	2.4	3.3	0.0
	上記以外	79	20.3	27.8	6.3	1.3	11.4	1.3	5.1	1.3	1.3	5.1	2.5	2.5	1.3
職業	会社員等	271	19.2	27.7	6.6	3.0	12.5	3.0	7.7	2.2	1.8	1.8	2.6	2.2	1.8
	契約・派遣等	137	17.5	25.5	5.1	4.4	15.3	1.5	6.6	1.5	3.6	0.7	1.5	2.9	1.5
	農林漁業	40	45.0	32.5	5.0	5.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	役員・自営等	60	25.0	31.7	5.0	1.7	10.0	0.0	6.7	1.7	1.7	0.0	3.3	1.7	3.3
	家事専業	80	18.8	21.3	6.3	5.0	13.8	0.0	7.5	0.0	8.8	0.0	1.3	3.8	0.0
	学生	25	12.0	28.0	4.0	12.0	20.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	8.0	0.0
	無職	142	23.2	19.7	9.2	7.0	10.6	1.4	2.1	1.4	3.5	1.4	0.0	0.7	1.4
	上記以外	26	19.2	19.2	15.4	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0
勤務・通学先	市内	351	18.8	27.1	5.4	3.1	13.1	2.6	8.3	1.4	2.6	0.9	1.1	3.1	2.0
	市外	203	18.2	29.1	8.9	4.4	11.8	0.5	4.9	2.0	1.5	2.0	3.4	1.5	1.0
	非就労・非通学	185	27.0	20.0	6.5	7.6	10.8	0.5	2.2	1.1	5.4	1.6	1.1	1.6	1.1

〔田村市の発展に特に重要な取り組み 第2位〕

- 田村市の発展に特に重要な取り組みの第2位は、「働く場の充実」（20.5％）が最も高く、「子育て支援」（11.6％）、「高齢者、障害者等への福祉」（11.1％）が続きます。



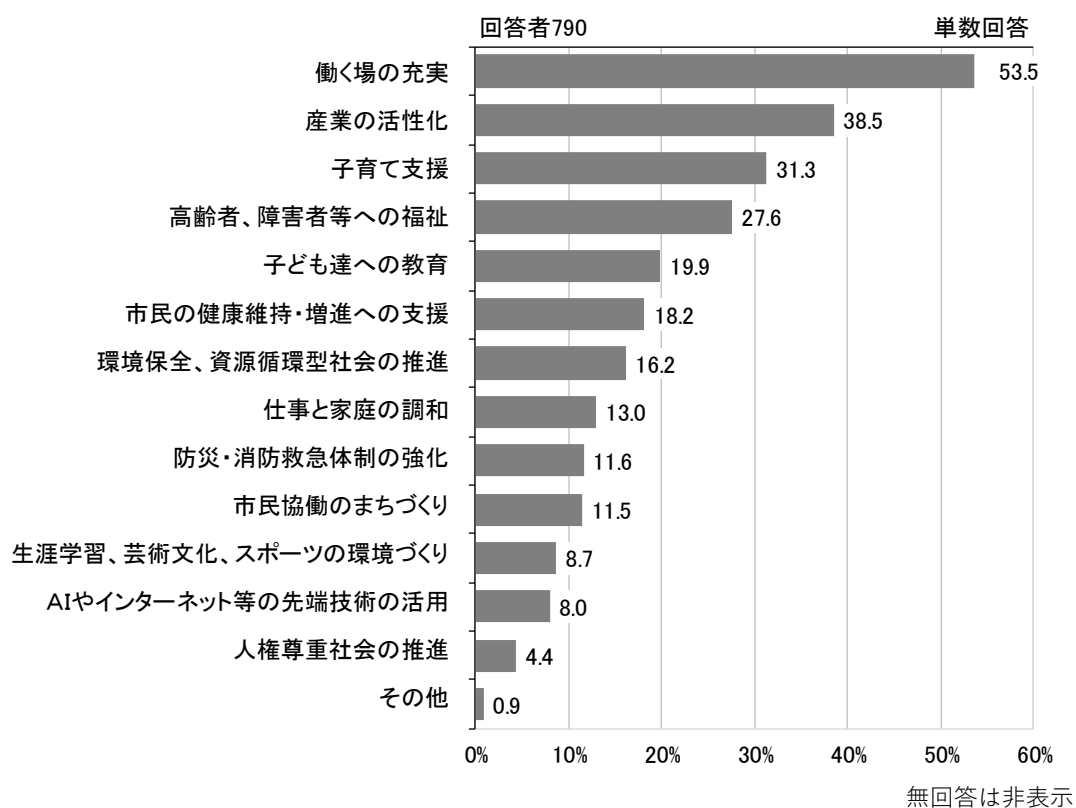
〔田村市の発展に特に重要な取り組み 第3位〕

- 田村市の発展に特に重要な取り組みの第3位は、「高齢者、障害者等への福祉」（11.8％）が最も高く、「環境保全、資源循環型社会の推進」（8.4％）、「働く場の充実」（7.8％）が続きます。



〔田村市の発展に特に重要な取り組み 第1～3位の合算〕

- 田村市の発展に特に重要な取り組み（第1～3位の合算）は、「働く場の充実」（53.5％）が最も高く、「産業の活性化」（38.5％）、「子育て支援」（31.3％）が続きます。



問 22 田村市のまちづくりで特に重要だと思うこと、次世代に残していきたいもの、市政に関して日頃考えている提案やアイデアなどを自由にご記入ください。

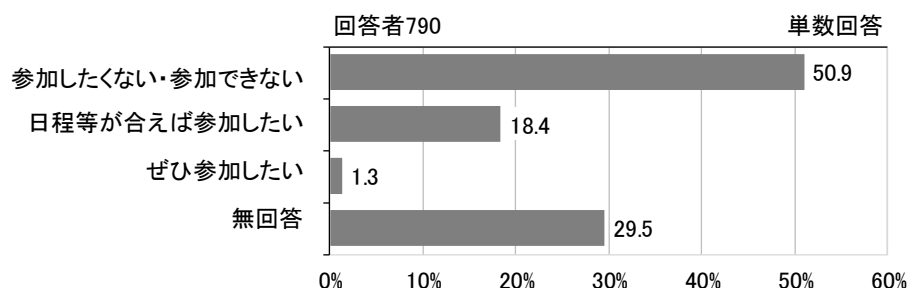
分野	キーワード	意見数	主な意見
産業・雇用	商業 働く場 農業 観光 働き方	94	○ 商業の活性化（商店の増加と地域格差是正、大型商業施設の誘致、魅力ある個店・商店街等） ○ 雇用拡大、若者の働く場の確保 ○ 既存産業の活性化（農業、観光、企業誘致） ○ 多様な働き方の環境整備（子育てしやすい職場、テレワーク、レンタルスペース、起業支援等）
保健・医療・福祉	子育て 医療 高齢・障害 結婚	75	○ 医療体制の充実（診療科目、診療時間、緊急時対応等） ○ 子どもが安全に遊べる場所（公園、屋内施設等） ○ 子育てしやすい環境づくりへの期待 ○ 様々な福祉課題への支援・対応の充実（支えあい、福祉サービス、保健事業、結婚支援等）
教育・生涯学習	学校 歴史・文化 運動 学習	52	○ 幼児～学生に質の高い教育環境（学力、安全、地域資源を生かした体験、地域での学習の場等） ○ 歴史や文化の継承・活用・再発見 ○ 健康のための運動・スポーツの環境整備（ウォーキング等のイベントやコース、施設の新設） ○ 生涯学習の活性化・環境整備
都市整備・生活環境	自然 公園 道路 移動手段 地域安全 空き家 ごみ	109	○ 豊かな自然を残す・生かす ○ 景観向上（道路、植栽、街並み） ○ 大きな公園の整備（屋内、子どもが安全に遊べる等） ○ 交通環境の向上（バス等の利便性、道路整備等） ○ 道路・夜間の安全性向上（通学時、街灯等） ○ 空き家の対策・活用 ○ 計画的な土地利用（耕作放棄地や空き地の活用、駅前の再整備等） ○ ごみ処理方法の改善と意識啓発
住民自治 （地区活動）	地区 特色 交流	25	○ 地区毎の特色づくり、地区格差への懸念 ○ 住民同士の交流・つながりの再生 ○ 住民自治の推進、慣習の見直し
行財政運営 まちづくり全般	情報発信 職員 まちづくり	77	○ 魅力づくり、住みやすさ、地区のバランスに配慮するまちづくり ○ 市民意見を取り入れた市政 ○ 職員や市の業務に関する叱咤激励 ○ 内外への情報発信の工夫
その他	—	20	○ アンケート調査への意見 ○ 特になし 等
合計		452	*複数の分野に関わる意見を分野それぞれに計上した数



5 市民ワークショップの参加意向

問 23 あなたは、「市民ワークショップ」に参加したいですか。（1つに○）

- 市民ワークショップの参加意向は、「参加したくない・参加できない」（50.9％）が最も高く、「日程等が合えば参加したい」（18.4％）、「ぜひ参加したい」（1.3％）が続きます。



【回答者属性別の傾向】

- 多くの属性区分で「参加したくない・参加できない」が最も高くなっています。
- 一方、「日程等が合えば参加したい」が20%を超えて高い属性区分は、20代、30代、船引地区、常葉地区、2世代同居、世帯の上記以外、契約・派遣等、役員・自営等、学生、職業の上記以外、市外（勤務・通学先）です。

回答者は人数、数値は%、網掛は各区分の第1位、属性の「無回答」は非表示

属性	区分	回答者	ぜひ参加したい	日程等が合えば参加したい	参加したくない・参加できない	無回答
性別	男性	326	2.5	19.3	50.3	27.9
	女性	460	0.4	17.8	51.7	30.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢	10代	22	0.0	18.2	72.7	9.1
	20代	77	2.6	20.8	62.3	14.3
	30代	93	2.2	24.7	58.1	15.1
	40代	112	0.9	17.0	58.0	24.1
	50代	120	0.8	18.3	59.2	21.7
	60代	206	0.0	19.9	45.1	35.0
	70代以上	157	2.5	12.7	35.0	49.7
地区	船引地区	436	0.9	20.4	49.3	29.4
	滝根地区	107	1.9	9.3	56.1	32.7
	大越地区	86	2.3	12.8	52.3	32.6
	都路地区	50	0.0	16.0	50.0	34.0
	常葉地区	108	1.9	24.1	52.8	21.3
世帯	ひとり暮らし	58	6.9	13.8	43.1	36.2
	夫婦のみ	187	0.5	15.0	45.5	39.0
	2世代同居	337	0.9	20.5	53.4	25.2
	3世代同居	123	0.8	18.7	55.3	25.2
	上記以外	79	1.3	20.3	55.7	22.8

属性	区分	回答者	ぜひ参加したい	日程等が合えば 参加したい	参加したくない・ 参加できない	無回答
職業	会社員等	271	2.2	19.9	60.9	17.0
	契約・派遣等	137	0.0	24.1	48.2	27.7
	農林漁業	40	5.0	5.0	45.0	45.0
	役員・自営等	60	3.3	25.0	40.0	31.7
	家事専業	80	0.0	13.8	56.3	30.0
	学生	25	0.0	24.0	68.0	8.0
	無職	142	0.0	12.7	40.1	47.2
	上記以外	26	0.0	23.1	34.6	42.3
勤務・ 通学先	市内	351	2.0	19.9	52.1	25.9
	市外	203	1.0	22.7	56.2	20.2
	非就労・非通学	185	0.5	13.0	48.1	38.4

第2次田村市総合計画策定のための 市民アンケート調査結果報告書

発 行 令和3年3月

編 集 田村市 総務部 経営戦略室

〒963-4393 福島県田村市船引町船引字畑添76番地2

TEL：(0247) 81-2117

FAX：(0247) 82-5577
